

摂津市議会

民生常任委員会記録

平成31年3月11日

摂津市議会

目 次

民生常任委員会

3月11日

会議日時、場所、出席委員、説明のため出席した者、出席した議会事務局 職員、審査案件 -----	1
開会の宣告 -----	3
市長挨拶	
委員会記録署名委員の指名 -----	3
議案第1号所管分及び議案第10号所管分の審査 -----	3
補足説明（保健福祉部長、保健福祉部理事、市民生活部長、環境部長）	
質疑（光好博幸委員、中川嘉彦委員、藤浦雅彦委員）	
散会の宣告 -----	75

民生常任委員会記録

1. 会議日時

平成31年3月11日(月) 午前10時 1分 開会
午後 4時46分 散会

1. 場所

301会議室

1. 出席委員

委員長 森西 正 副委員長 増永和起 委員 福住礼子
委員 藤浦雅彦 委員 中川嘉彦 委員 光好博幸

1. 欠席委員

なし

1. 説明のため出席した者

市長 森山一正 副市長 奥村良夫
市民生活部長 野村眞二 同部参事兼産業振興課長 吉田量治
自治振興課長 丹羽和人 市民課長 川本勝也
文化スポーツ課長 妹尾紀子 農業委員会事務局長 辻 稔秀
環境部長 山田雅也 同部参事兼環境センター長 鈴木康之
環境政策課長 飯野祐介 環境業務課長 三浦佳明
保健福祉部長 堤 守 同部理事 平井貴志
同部参事 川口敦子 同部参事兼国保年金課長 安田信吾
保健福祉課長 有場 隆 生活支援課長代理 松木 愛
高齢介護課長 荒井陽子 障害福祉課長 森川 護

1. 出席した議会事務局職員

事務局長 藤井智哉 同局書記 関 正秀

1. 審査案件(審査順)

議案第 1号 平成31年度摂津市一般会計予算所管分
議案第10号 平成30年度摂津市一般会計補正予算(第8号)所管分
議案第 6号 平成31年度摂津市パートタイマー等退職金共済特別会計予算
議案第 4号 平成31年度摂津市国民健康保険特別会計予算
議案第13号 平成30年度摂津市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
議案第29号 摂津市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定の件
議案第 8号 平成31年度摂津市後期高齢者医療特別会計予算

- 議案第 7号 平成31年度摂津市介護保険特別会計予算
議案第15号 平成30年度摂津市介護保険特別会計補正予算（第4号）
議案第27号 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定の件
議案第28号 摂津市廃棄物の減量、再生利用及び適正処理に関する条例の一部を
改正する条例制定の件

(午前10時1分 開会)

○森西正委員長 ただいまから民生常任委員会を開会します。

理事者から挨拶を受けます。

森山市長。

○森山市長 おはようございます。

本日は、過日の代表質問に引き続きまして、民生常任委員会をお持ちいただきまして、大変ありがとうございます。

本日は、先日の本会議で当委員会に付託されました案件についてご審査をいただきますけれども、何とぞ慎重審査の上、ご可決いただきますようよろしくお願い申し上げます。

一旦退席させていただきます。

○森西正委員長 挨拶が終わりました。

本日の委員会記録署名委員は、光好委員を指名します。

審査の順序につきましては、お手元に配付しております案のとおり行うことに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○森西正委員長 異議なしと認め、そのように決定します。

暫時休憩します。

(午前10時2分 休憩)

(午前10時3分 再開)

○森西正委員長 再開します。

議案第1号所管分及び議案第10号所管分の審査を行います。

本2件のうち議案第10号所管分については補足説明を省略し、議案第1号所管分について補足説明を求めます。

堤保健福祉部長。

○堤保健福祉部長 おはようございます。

それでは、議案第1号、平成31年度摂津市一般会計歳入歳出予算のうち、保健福祉部の高齢介護課、障害福祉課、生活支援

課、国保年金課が所管しております事項につきまして、目を追って、その主なものについて補足説明をさせていただきます。

まず、歳入でございますが、予算書28ページ、款13分担金及び負担金、項1負担金、目1民生費負担金は、社会福祉費負担金と障害福祉費負担金で、前年度に比べ0.3%、102万円の減額となっております。

36ページ、款15国庫支出金、項1国庫負担金、目1民生費国庫負担金は、生活保護費や障害者自立支援給付費などの負担金が主なもので、前年度に比べ3.5%、1億971万2,000円の増額となっております。これは障害者の重度化・高齢化による障害福祉サービス費等給付費の増に伴う負担金増などによるものでございます。

38ページ、項2国庫補助金、目2民生費国庫補助金は、社会福祉費補助金、生活保護費補助金及び障害福祉費補助金で、前年度に比べ2.2%、96万4,000円の減額となっております。

40ページ、項3委託金、目2民生費委託金は、国民年金事務等に係る委託金で、前年度に比べ2.1%、48万6,000円の増額となっております。

42ページ、款16府支出金、項1府負担金、目1民生費府負担金は、国民健康保険及び後期高齢者医療の基盤安定負担金や障害者自立支援給付費等負担金が主なもので、前年度に比べ6.8%、6,110万円の増額となっております。

44ページ、項2府補助金、目2民生費府補助金は、老人医療費補助金や重度障害者医療費補助金などが主なもので、前年度に比べ0.03%、5万1,000円の減額となっております。

54ページからの款20諸収入、項4雑入、目2雑入につきましては、59ページの生活支援課、高齢介護課、障害福祉課分で、各種生活保護法による返還金及び徴収金や重度障害者医療費返還金などで、前年度に比べ48.5%、1,794万1,000円の増額となっております。

続きまして、歳出でございますが、104ページ、款3民生費、項1社会福祉費、目1社会福祉総務費は、事務の執行に係る経費のほか、広域連合医療給付等負担金などの負担金、国民健康保険や介護保険などの特別会計への繰出金が主なもので、人件費事業を除き、前年度に比べ0.8%、2,271万6,000円の減額となっております。

108ページ、目2老人福祉費は、高齢者の福祉サービスに係る経費で、前年度に比べ1.8%、333万2,000円の減額となっております。

110ページ、目3国民年金総務費及び目4国民年金事務費は、国民年金事務に係る経常経費で、国民年金総務費は、前年度と同額、国民年金事務費は、国民年金システム改修委託料の減により、前年度に比べ46.4%、72万9,000円の減額となっております。

目5老人医療助成費は、福祉医療費助成制度の再構築により前年度に比べ54%、5,674万4,000円の減額となっております。

目6重度障害者医療助成費は、同じく福祉医療費助成制度の再構築により前年度に比べ29.2%、6,432万4,000円の増額となっております。

目7障害福祉費は、障害者に係る福祉サービスや指定管理料が主なもので、前年度に比べ8.5%、1億9,364万3,0

000円の増額となっております。これは障害福祉サービス費等給付費などの増によるものでございます。

122ページ、項3生活保護費、目1生活保護総務費は、人件費事業を除き、前年度に比べ59.1%、2,170万7,000円の減額となっております。これは生活保護システム改修委託料の減によるものでございます。

目2扶助費は、前年度に比べ0.8%、2,343万2,000円の増額となっております。

以上、保健福祉部の高齢介護課、障害福祉課、生活支援課、国保年金課が所管いたしております平成31年度一般会計歳入歳出予算についての補足説明とさせていただきます。

○森西正委員長 平井保健福祉部理事。

○平井保健福祉部理事 おはようございます。

それでは、議案第1号、平成31年度摂津市一般会計歳入歳出予算のうち、保健福祉部保健福祉課が所管しております事項につきまして、目を追って、その主なものについて補足説明をさせていただきます。

まず歳入でございますが、予算書28ページ、款13分担金及び負担金、項1負担金、目1民生費負担金のうち、保健福祉課に係りますものは、児童福祉費負担金のうち、助産施設入所負担金で、前年度と同額の33万2,000円となっております。

36ページ、款15国庫支出金、項1国庫負担金、目1民生費国庫負担金のうち、保健福祉課に係りますものは、児童福祉費負担金のうち、助産施設負担金で、前年度に比べ13.4%、30万円の増額となっております。

目2衛生費国庫負担金は、養育医療費負

担金で、前年度と同額の250万円となっております。

項2国庫補助金、目3衛生費国庫補助金は、39ページのがん検診推進事業補助金と予防接種事業費補助金で、新たに風疹対策に係る予算を計上したことにより、前年度に比べ800万円の増額となっております。

42ページ、款16府支出金、項1府負担金、目1民生費府負担金のうち、保健福祉課に係りますものは、社会福祉費負担金のうち、民生児童委員協議会負担金と民生委員推薦会負担金及び児童福祉費負担金のうち、助産施設負担金で、前年度に比べ11.6%、15万円の増額となっております。

目2衛生費府負担金は、養育医療費負担金で、前年度と同額の125万円でございます。

44ページ、項2府補助金、目2民生費府補助金のうち、保健福祉課に係りますものは、社会福祉費補助金のうち、戦没者遺族等援護法施行事務費補助金と地域福祉・高齢者福祉交付金で、前年度に比べ45.3%、2,176万1,000円の減額となっております。これは前年度までの地域福祉・子育て支援交付金のうち、子育て分野に係る交付金を分け、新たに地域福祉・高齢者福祉交付金として整理されたことによるものでございます。

目3衛生費府補助金のうち、保健福祉課に係りますものは、所有者不明動物死体処理交付金を除く、保健衛生費補助金と権限移譲交付金で、前年度に比べ28.2%、140万9,000円の減額となっております。

54ページ、款20諸収入、項3貸付金元利収入、目4三次救命救急センター貸付

金元利収入は、前年度に比べ14.5%、204万1,000円の増額でございます。

項4雑入、目2雑入のうち、保健福祉課に係りますものは、57ページの各種健診自己負担金、予防接種自己負担金などで、前年度に比べ、6.2%、246万5,000円の減額でございます。

続きまして、歳出でございますが、104ページ、款3民生費、項1社会福祉費、目1社会福祉総務費のうち、保健福祉課に係りますものは、社会福祉協議会への運営補助や地域福祉活動支援センターの運営費などが主なもので、人件費関係を除き、前年度に比べ10%、938万7,000円の増額となっております。

114ページ、項2児童福祉費、目1児童福祉総務費のうち、保健福祉課に係りますものは、117ページの助産施設運営費負担金で、前年度と比べ12.5%、60万円の増額となっております。

122ページ、款4衛生費、項1保健衛生費、目1保健衛生総務費のうち、保健福祉課に係りますものは、保健センター及び休日小児急病診療所管理委託料、三島救命救急センター負担金が主なもので、人件費を除き、前年度に比べ16.6%、3,247万5,000円の増額となっております。これは保健センターに係る指定管理料の増などによるものでございます。

124ページ、目2予防費は、前年度に比べ6.4%、3,222万8,000円の増となっております。これは風疹対策などの増によるものでございます。

126ページ、目3環境衛生費のうち、保健福祉課に係るものは、検査委託料で前年度と同額の33万5,000円でございます。

以上、保健福祉部保健福祉課が所管いた

しております、平成31年度一般会計歳入歳出予算についての補足説明とさせていただきます。

○森西正委員長 野村市民生活部長。

○野村市民生活部長 おはようございます。

それでは、議案第1号、平成31年度摂津市一般会計予算のうち、市民生活部に係ります主な事項につきまして、目を追って、補足説明をさせていただきます。

まず歳入でございます。

予算書30ページ、款14使用料及び手数料、項1使用料、目1総務使用料は、コミュニティプラザや別府コミュニティセンター、文化ホール、体育施設の使用料などでございます。

目3衛生使用料のうち、市民生活部に係るものは、斎場及び葬儀会館使用料などでございます。

32ページ、項2手数料、目1総務手数料のうち、市民生活部に係るものは、戸籍や住民票手数料及び印鑑証明手数料などでございます。

34ページ、目2衛生手数料のうち、市民生活部に係るものは、墓地手数料でございます。

目3農林水産業手数料のうち、農業委員会手数料は、土地現況証明手数料でございます。

38ページ、款15国庫支出金、項2国庫補助金、目1総務費国庫補助金のうち、戸籍住民基本台帳費補助金は、個人番号カード交付関連事務に係る補助金でございます。

目4商工費国庫補助金の商工振興費補助金は、商品券販売券面額から売上額を差し引いたプレミアム付商品券事業及び商品券事務に係る補助金でございます。

40ページ、項3委託金、目1総務費委託金のうち、戸籍住民基本台帳費委託金は、中長期在留者及び特別永住者に係る住居地届出等事務委託金でございます。

42ページ、款16府支出金、項2府補助金、目1総務費府補助金は、NPO法人の設立認証等及び旅券発給事務の権限移譲に係る交付金でございます。

46ページ、目4農林水産業費府補助金のうち、農業委員会費補助金は、農業委員会に係る農業委員会交付金でございます。また、農業振興費補助金は、農業地域力創造推進事業費補助金、及び多面的機能支払交付金でございます。

目5商工費府補助金は、消費生活相談に係る地方消費者行政活性化交付金などでございます。

48ページ、項3委託金、目1総務費委託金のうち、戸籍住民基本台帳費委託金は、人口動態調査に係る事務委託金でございます。

50ページ、款17財産収入、項1財産運用収入、目1財産貸付収入のうち、市民生活部に係るものは、摂津市商工会への建物貸付収入でございます。

52ページ、款19繰入金、項2基金繰入金、目4墓地管理基金繰入金は、市営墓地の管理経費に充てるために繰り入れるものでございます。

54ページ、款20諸収入、項3貸付金元利収入、目2中小企業事業資金融資預託金収入は、市内の金融機関に預託しております元金収入でございます。

56ページ、項4雑入、目2雑入のうち、市民生活部に係ります主なものは、文化ホール入場料、摂津音楽祭審査料等、商品券売上金、市民農園利用料、南千里丘分室入居者負担金などでございます。

続きまして、歳出でございます。

76ページ、款2総務費、項1総務管理費、目6都市交流費は、都市及び国際交流に係る経費などでございます。

78ページ、目10防犯対策費は、防犯灯、防犯カメラの設置や光熱水費など、維持管理に係る経費などでございます。

80ページ、目13自治振興費は、地区振興委員報酬、犯罪被害者等への支援に係る経費や摂津まつり振興会補助金、地域活性化事業補助金などでございます。

目14文化振興費は、文化ホールや市民ルームの管理運営に係る指定管理料や音楽祭運営委託料などでございます。

82ページ、目15コミュニティプラザ費は、コミュニティプラザの管理運営に係る指定管理料や修繕料、市民公益活動補助金などでございます。

84ページ、目16コミュニティセンター費は、一般職非常勤職員賃金及び別府コミュニティセンターの管理運営に係る指定管理料や修繕料などでございます。

90ページ、項3戸籍住民基本台帳費、目1戸籍住民基本台帳費は、戸籍住民基本台帳事務に係る経費のほか、窓口業務委託、個人番号カード交付事務などに係る経費でございます。

100ページ、項7保健体育費、目1保健体育総務費は、スポーツ推進委員活動事業に係る委員報酬などでございます。

102ページ、目2体育振興費は、市長杯総合スポーツ大会等に係る委託料、地区市民体育祭実施に係る補助金などでございます。

目3体育施設費は、市内体育施設維持管理運営に係る指定管理料、修繕料、旧味舌小学校跡地体育館建設実施設計委託料、青少年運動広場改修工事費などござい

ます。

128ページ、款4衛生費、項1保健衛生費、目6斎場費は、斎場及び葬儀会館の管理運営に係る指定管理料などでございます。

目7墓地管理費は、市営墓地3か所の管理に係る経費でございます。

136ページ、款5農林水産業費、項1農業費、目1農業委員会費は、農業委員会運営に係る経費で、農業委員会委員報酬などでございます。

目3農業振興費は、農園管理指導委託料、農業振興会補助金、花とみどりの補助金及び農業祭実行委員会補助金などでございます。

140ページ、款6商工費、項1商工費、目2商工振興費は、商工業活性化対策事業補助金、企業立地奨励金及び商品券交付金などでございます。

142ページ、目3消費対策費は、消費生活相談ルームにおける相談業務及び消費者啓発に係る経費などでございます。

以上、平成31年度摂津市一般会計予算のうち、市民生活部に係ります歳入歳出予算の補足説明とさせていただきます。

○森西正委員長 続きまして、山田環境部長。

○山田環境部長 おはようございます。

それでは、議案第1号、平成31年度摂津市一般会計予算のうち、環境部に係る部分につきまして、目を追って、主なものについて補足説明をさせていただきます。

まず、歳入でございますが、34ページ、款14使用料及び手数料、項2手数料、目2衛生手数料のうち、環境部に係るものは、狂犬病予防法に定める飼い犬の登録及び狂犬病予防接種の注射済票交付に係る飼犬登録手数料、動物の死体処理に係る汚物

処理手数料、一般廃棄物の焼却及び臨時ごみ等の収集運搬処分等に係る塵芥処理手数料、し尿処理及び浄化槽汚泥の処分に係るし尿処理手数料並びに鳥獣の飼養登録の事務に係る鳥獣登録手数料でございます。

44ページ、款16府支出金、項2府補助金、目3衛生費府補助金のうち、環境部に係るものは、所有者不明動物死体処理経費に対して交付される保健衛生費補助金及び公害対策並びに浄化槽の設置等に関する事務に対する権限移譲交付金でございます。

52ページ、款19繰入金、項2基金繰入金、目3環境基金繰入金は、環境関連事業の財源の一部として環境基金から繰り入れを予定しております。

56ページ、款20諸収入、項4雑入、目2雑入のうち環境部にかかわるものは、資源ごみ売却収入等でございます。

次に、歳出でございますが、126ページ、款4衛生費、項1保健衛生費、目3環境衛生費は、動物死体処理及び衛生害虫等の駆除に係る委託料が主なもので、前年度に比べ5.8%の減となっております。

128ページ、目4公害対策費は、地盤沈下一級水準測量及び水質及び大気の測定分析、自動車騒音の分析、評価などの委託料が主なもので、前年度に比べ2.0%の減となっております。

目5環境政策費は、環境美化ボランティア制度登録者へ配付するジャンパーの製作費用のほか、ごみ減量化環境絵画展の入賞作品をパッカー車に掲示するための印刷製本費、公共施設へのLED照明の導入方式に関する調査委託料などを計上しており、前年度に比べ56.9%の増となっております。

130ページ、款4衛生費、項2清掃費、目1清掃総務費は、前年度に比べ1.5%の増となっております。

目2塵芥処理費は、ごみ収集運搬等に係る委託料が主なもので、前年度に比べ13%の増となっております。

132ページ、目3し尿処理費は、し尿及び浄化槽汚泥の収集運搬及び処理に係る経費で、前年度に比べ0.6%の減となっております。

134ページ、目4環境センター費は、焼却施設の運転維持管理に係る経費で、前年度に比べ9.6%の増となっております。

以上、環境部に係ります歳入歳出予算の補足説明とさせていただきます。

○森西正委員長 説明が終わり、質疑に入ります。

光好委員。

○光好博幸委員 おはようございます。それでは、質問をさせていただきます。

まず補正予算の質問は1点だけです。で、先にそれを言わせてもらってから平成31年度一般会計予算に移りたいと思います。

質問1としまして、これ自治振興課です。補正予算書の24ページ、款2総務費、項1総務管理費、目10防犯対策費におきまして、防犯カメラ保守点検委託料が630万円減額補正ということで、これ当初予算の状況で見ますと810万円あがっていたと思うんですけども、対して630万円の減額ということですので、その理由についてお聞かせください。

続きまして、歳入につきましては、予算書、歳出につきましては、予算概要で質問をさせていただきます。

委員長の話もありましたけれども、質問は順番の番号も言いますし、部署ごとにさ

せてもらいますのでよろしくお願ひします。

同じく自治振興課です。自治振興課については全部で7個用意しています。

質問二つ目、予算書30ページ、款14使用料及び手数料、項1使用料、目1総務使用料において、節3コミュニティセンター使用料の中で、コミュニティセンター使用料が168万円予算が計上されています。昨年度は、96万円だったと記憶しておりますけれども、増額されている理由についてお聞かせください。

質問3です。予算概要20ページ、款2総務費、項1総務管理費、目6都市交流費の中国蚌埠市友好交流事業につきまして、これ毎回触れさせてもらっていますけれども、昨年同様に46万2,000円計上されています。過去からいろいろと取り組まれておりまして、ご答弁を聞いていますと、交流はなかなか難しいと認識しておりますけれども、改めて平成31年度の事業内容についてお聞かせください。

質問4番目、予算概要22ページ、款2総務費、項1総務管理費、目10防犯対策費、LED防犯灯等防犯推進事業におきまして、これも平成30年度と同様に防犯灯設置工事で160万円予算計上されていますので、改めて平成31年度の事業内容をお聞かせください。

質問5、同じく目10の防犯対策費のところの防犯カメラ設置事業において、今回新たに防犯カメラのリース料として200万1,000円計上されています。当初予算主要事業一覧を見ていると、新たに6台設置されるという記載がありましたけれども、改めて平成31年度の事業内容をお聞かせください。

質問6、予算概要24ページの款2総務

費、項1総務管理費、目14文化振興費、市民ルームフォルテ管理事業と、次のページの正雀市民ルーム管理事業も一緒に聞かせてもらいます。この市民ルームの管理事業として、おのおの391万4,000円と1,425万3,000円計上されていますけれども、市民ルームそのものの稼働率は低いと認識しておりますので、まずは、それぞれの市民ルームの稼働率をお聞かせいただきたいと思ひます。

自治振興課、最後です。質問7、予算概要26ページ、款2総務費、項1総務管理費、目15のコミュニティプラザ費です。

市民活動支援事業において、市民公益活動補助金として150万円計上されておりました。これも主要事業一覧によりますと、助成対象を拡充するというふうに記載がありましたので、内容についてお聞かせください。

続きまして、質問8、市民課に移ります。三つあります。

一つ目、34ページ、款2総務費、項3戸籍住民基本台帳費、目1戸籍住民基本台帳費の戸籍事務事業において、戸籍システム更新委託料として1,892万円計上されていました。この内容ですね、システムが更新されて何が改善されるのか等々、中身についてお聞かせください。

質問9、市民課二つ目ですね、予算概要の68ページ、款4衛生費、項1保健衛生費、目6斎場費の斎場管理事業におきまして、3,897万2,000円計上されています。この中に入っているかと思うんですけれども、別府の斎場の残骨灰の取り扱いを聞かせていただきたいと思ひます。と、いいますのも、これ2月8日の読売新聞で、ご存じかと思うんですけれども、遺骨処理に悩む自治体という記事が載ってて、非常

に気になっておりました、ご存じだと思っておりますが、残骨灰というのは、歯の治療などで使われた金とか銀の有価金属の売却で利益を得ている自治体があるというふうに記載がありました。そこで本市の状況を確認させてください。一つは、平成31年度の残骨灰処理の予算というのがどこかわからなかったの、幾らだったのか、お聞かせ願いたいのと、あとその残骨灰がどこでどう処理されているのかということですね。しっかりと供養されていると思うんですけども、その辺のことと、その処理の確認ですね、しっかりとチェックされていると思うんですけども、こういった流れで、どうチェックされているのかというのをお聞かせいただきたいと思います。

次は、市民課、3個目、質問10になります。予算概要68ページ、同じく目6の斎場費のところの葬儀会館管理運営事業についてです。葬儀会館空調設備等更新工事、1億1,581万1,000円計上されておりました。これ非常に高額な更新工事になっております。その内容として、本庁では空調設備、あるいは照明ですね、省エネルギー化工事ということでやられたと思います。それとどのように違うのかということと、トータルで1億1,500万円強ですので、トータル金額の妥当性みたいなところも含めて、できたらわかりやすく教えていただけたらと思っています。

それと同じところの事業の中で、土地借上料というのが480万円計上されています。これは毎年同額で計上されていますけれども、改めてこの内容もお聞かせください。

次にいきます。文化スポーツ課、五つあります。

質問11です。予算概要26ページ、目14文化振興費、文化ホール管理事業におきまして、修繕料として、ことしも1,046万1,000円計上されておりました。文化ホールは平成29年度にリニューアルしたばかりということだと思っておりますけれども、この平成31年度の修繕内容を教えてください。

質問12です。予算概要42ページ、款2総務費、項7保健体育費、目2体育振興費、スポーツ教室振興事業、67万2,000円においてです。昨年度は、トレーニング指導者等派遣委託料が421万2,000円計上されていたと記憶しておりますけれども、今回この委託料がなくなっているの、その状況と、改めて平成31年度の事業内容をあわせてお聞かせください。

質問13です。予算概要42ページ、目2の体育振興費、摂津ふれあいマラソン大会事業におきまして、249万8,000円計上されています。ことしも私、5キロ走らせていただきまして、いろいろと工夫されていることは実感いたしております。改めて平成31年度の事業内容ですね、もし工夫されようとしている点等々あるのであれば一緒にお答えください。

質問14です。予算概要42ページ、款2総務費、項7保健体育費、目3体育施設費、体育施設維持管理事業におきまして、5億8,403万3,000円計上されておまして、これ昨年度より大幅に増加されています。これを見ていると、青少年運動広場改修工事というところで、5億1,000万円計上されている。これが大きく影響していると思うんですけども、また工事監理委託料としても、1,800万円計上されています。改めてまして、青少年

運動広場の改修工事の現在の状況とスケジュールについてお聞かせください。

文化スポーツ課五つ目です。

質問15、予算概要42ページ、同じく目3体育施設費の温水プール管理事業について温水プール管理委託料が3,200万円計上されていました。これは、指定管理に4月から移行される状況だと思えます。そのときに、私、以前に触れさせてもらったと思うんですけども、温水プールに通っている子どもたちの影響等々軽減する意味でも引き継ぎは丁寧にやるとかいうことをおっしゃられていたと思えますので、今の状況を把握している範囲で教えていただけたらと思えます。

続きまして、産業振興課にいきます。四つあります。

質問16、予算概要78ページの款6商工費、項1商工費、目2商工振興費、中小企業育成事業において、302万6,000円計上されています。本件につきましては、代表質問でも触れさせてもらいましたが、昨年度、産業振興アクションプラン評価検証支援委託料として115万6,000円予算計上されて取り組まれていると思えますので、そこから見えてきた課題と、あと平成31年度の事業内容をお聞かせいただければと思えます。

質問17、予算概要78ページ、款6商工費、項1商工費、目2商工振興費、商工業活性化対策補助事業で、この活性化の補助金として300万円計上されていました。これは、平成30年度よりも40万円減額されていますし、平成29年度から換算すると160万円減額されているんですね。ちょっと気になりましたので、現在の状況と平成31年度の事業内容についてお聞かせください。

質問18、予算概要78ページ、款6商工費、項1商工費、目2商工振興費の南千里丘分室管理事業です。これも965万4,000円計上されていて、前も触れさせていただきましたけれども、南千里丘分室は非常に稼働率が低いことが課題として上げられていると思えます。確認の意味を含めまして、ここ数年の稼働率の推移と、その稼働率向上に向けた取り組みをどう考えられているか改めてお聞かせください。

質問19、産業振興課、これで最後です。予算概要78ページ、款6商工費、項1商工費、目2商工振興費のスクラッチカード発行事業ですね。633万3,000円計上されていて、平成30年度は報償金というのが54万5,000円計上されていたと認識しているんですけども、これがなくなっていましたので、改めて事業内容をお聞かせいただければと思えます。

次に、保健福祉課、三つです。

質問20になります。44ページ、款3民生費、項1社会福祉費、目1社会福祉総務費、地域福祉計画推進事業におきまして、その地域福祉計画策定委託料として477万4,000円計上されております。これも代表質問で触れさせていただきましたけれども、改めてまして平成31年度の事業内容をお聞かせください。

保健福祉課二つ目の、質問21、予算概要64ページの款4衛生費、項1保健衛生費、目2予防費の感染症予防事業において、3億92万7,000円計上されていました。これ先ほどの話でも風疹の話ということで聞きました。これ質問をやめて、要望だけにさせていただきます。私の認識としては、昭和37年4月2日から昭和51年4月1日の間に生まれた男性を対象に実施

する風疹の予防接種のやつですかね。私もちょうどその対象に入るので、ちょっと関心があったので、調べていました。この風疹はご存じのとおり、飛沫感染とか、人から人に感染力が強い病気ですね。あと妊娠中の女性が風疹にかかると胎児に影響が出るということもありますので、しっかりと対象者に周知していただけますように、これ要望として質問を終わります。

保健福祉課、三つ目、質問22、66ページ、款4衛生費、項1保健衛生費、目2予防費、まちごとフィットネスヘルシータウン事業におきまして、1,950万円計上されています。これは昨年から見ますと、まちごと元気ヘルシーポイント事業と一緒になったと理解しておりますけれども、平成31年度の事業内容と、現状どんな状況かというのをお聞かせいただければと思います。よろしく申し上げます。

次、高齢介護課いきます。2個あります。

質問23、46ページ、款3民生費、項1社会福祉費、目1社会福祉総務費、せつつ高齢者かがやきプラン推進事業におきまして、この摂津高齢者かがやきプラン策定委託料として260万円計上されています。これは、今回、介護予防・日常生活圏域のニーズ調査というところになっていたかと思いますが、改めてその進め方とか内容をお聞かせいただきたいと思ひます。

質問24、48ページの款3民生費、項1社会福祉費、目2老人福祉費、ひとり暮らし高齢者等安全対策事業におきまして、この緊急通報装置設置委託料が198万9,000円計上されています。これはひとり暮らしの高齢者に非常に有効なサービスではないかなというふうに感じてい

るんですけども、一方で昨年の予算からすると半額以下になっていました。大幅に減額されていまして、その理由と、現在の利用状況がどうなっているのか、確認の意味で聞かせてください。

続きまして、質問25、障害福祉課、一つだけ聞かせてください。

予算概要50ページ、款3民生費、項1社会福祉費、目7障害福祉費の福祉タクシー事業におきまして、508万5,000円計上されておきまして、これ事務報告書を見てますと利用件数がちょっとずつふえているように認識しておりますけれども、利用対象者も含めた平成31年度の事業内容を確認の意味でお聞かせください。

生活支援課、一つです。

質問26になります。62ページ、款3民生費、項3生活保護費、目2扶助費の生活保護事業として、29億7,763万3,000円計上されていまして、これ年々増加傾向にあると認識しております。高齢化も進みまして、保護受給世帯は今後もふえる傾向にあるのではないかなと認識しておりますけれども、現在の本市の状況ですね、その世帯がどれだけいるのかということと、生活保護のケースワーカーの体制整備についての考えをお聞かせください。現状も含めてお聞かせいただければいいと思います。

質問27、環境政策課で三つあります。66ページ、款4衛生費、項1保健衛生費、目4公害対策費の環境測定・調査等事業において、地盤沈下1級水準測量委託料です。348万4,000円計上されておりますけれども、これはJR東海鳥飼車両基地の地下水くみ上げ問題のことの経過観察と認識しておりますけれども、改めて平成31年度の事業内容と現況ですね、年に1回

測量されていると思いますけれども、今の測量結果等わかっておれば、それもあわせてお聞かせください。

質問28です。68ページ、款4衛生費、項1保健衛生費、目5環境政策費の環境美化事業におきまして、222万8,000円計上されています。これも毎回触れさせてもらっていますが、今回情報紙発行ということが書かれていましたので、改めて事業内容と、あと登録者数を確認の意味で聞かせてください。

質問29です。68ページ、款4衛生費、項1保健衛生費、目5環境政策費、温暖化対策事業につきまして、LED照明事前調査委託料として300万円計上されておりました。この委託料の内容をお聞かせいただきたいと思います。

今度、環境業務課です。二つあります。

質問30、70ページですね、款4衛生費、項2清掃費、目2塵芥処理費、リサイクルプラザの整備事業におきまして、機械器具費として2,970万円計上されました。これは設備トラブルの多いペットボトル圧縮梱包器の更新というふうに理解しておりますけれども、改めて内容についてお聞かせください。

質問31です。予算概要70ページ、款4衛生費、項2清掃費、目2塵芥処理費で、ごみ収集処理事業におきまして、臨時ごみ収集運搬委託料として1,632万5,000円計上されておまして、昨年が348万円でしたので、大幅に増額されておりましたので、理由についてお聞かせください。

環境センターになります。

質問32、72ページの款4衛生費、項2清掃費、同じですね、目2塵芥処理費の廃棄物広域処理推進事業として、2,363万1,000円、新規で計上されてお

りました。これは廃棄物を茨木市に搬入するための橋梁とか、専用の道路整備というところで認識しておりますけれども、改めてその事業内容とスケジュールのところも含めてお聞かせください。

質問33、72ページの款4衛生費、項2総務費、目4環境センター費のごみ処理施設維持管理事業におきまして、修繕料が1億6,670万円ということで、昨年も1億3,000万円ぐらい計上されておりましたので、3,500万円ほど増額となっております。これ今、ごみ処理の広域連携が見えてきている中でも、費用的に大きな支出でございますので、改めて平成31年度の内容をお聞かせいただきたいと思

います。少し多いですけれども、1回目は以上です。よろしくお願ひします。

○森西正委員長 それでは、答弁を求めます。

丹羽課長。

○丹羽自治振興課長 それでは、自治振興課にかかわります7点のご質問にご答弁させていただきます。

まず質問番号1番、補正予算書24ページの防犯カメラ保守点検委託料の減額理由についてお答えいたします。

本委託料につきましては、指名競争入札を行ったところ、8者にご参加いただき、予算計上しておりました810万円に対しまして、172万8,000円にて落札されたため、その差額約630万円を減額補正とさせていただいたものでございます。

続きまして、質問番号2番、予算書30ページにございますコミュニティセンター使用料の増額の理由についてお答えいたします。

別府コミュニティセンターにつきましては、平成28年12月にオープンいたしました。使用料につきましては、平成29年度が143万4,010円及び平成30年度は1月末現在、145万8,166円となっており、実績を考慮し、前年度に比べ72万円増の168万円を計上させていただきました。

続きまして、質問番号3番、予算概要20ページ、中国蚌埠市友好交流事業の平成31年度の取り組みについてお答えいたします。

平成30年度につきましては、現在蚌埠市の担当者と計11回電子メールでのやりとりを行っております。現在蚌埠市から2019年の10月ごろに来撰したいとの話を伺っており、現在日程など詳細について調整しているところでございます。

続きまして、質問番号4番、予算概要22ページ、LED防犯灯等防犯推進事業。これも平成31年度の取り組みについてお答えいたします。

例年、自治連合会総会時の全自治会からご要望を伺い、あわせて市民の皆様からのご要望や、宅地開発時には、業者との協議を行いそれらを取りまとめ、摂津警察、茨木土木事務所、関西電力、NTTとの協議を行い、防犯効果を勘案し、設置場所を決め、新設、移設、増設を行っており、平成31年度についてもそのように取り組んでいきたいというふうに考えております。

続きまして、質問番号5番、予算概要22ページ、防犯カメラ設置事業、これも平成31年度の取り組みについてご答弁させていただきます。

街頭犯罪を未然に防止することを目的とし、街頭防犯カメラの効果や必要性が取りざたされ、全国的に増設が進められてお

り、本市におきましても、平成29年度には、市内100台設置の計画が完了いたしました。しかし、依然防犯カメラの需要は高く、平成30年度には、摂津警察や自治会より新規設置の要望があり、検討をいたしました。平成31年度予算では、街頭に6台の設置を計画しております。また、平成25年度から20台は耐用年数を迎えることから更新といたしました。新規設置の6台及び都市公園に設置される4台、更新分の20台を加えまして、合計30台につきまして今年度から機器購入ではなく、費用効果を勘案し、保守点検を含んだ5年間のリースでの契約とさせていただいたところでございます。

また、更新いたします防犯カメラにつきましては、設置効果を検証し、より犯罪抑止効果の高い場所への移設を検討してまいります。

続きまして、質問番号6番、予算概要24ページ、市民ルームフォルテ管理事業、及び正雀市民ルーム管理事業、両施設の稼働率についてご答弁させていただきます。

フォルテの稼働率につきましては、平成29年度は、22.6%、平成30年度は、平成31年1月末現在、23.9%となっております。また、正雀市民ルームにつきましては、平成29年度、38.1%、平成30年度、平成31年1月末現在40.8%となっております。

続きまして、質問番号7番、予算概要26ページ、市民活動支援事業、市民公益活動補助金の拡充の内容についてお答えいたします。

市民公益活動補助金制度は、今年度で6年目となります。市民団体が補助金を利用して公益活動を実施し、その後、どのような活動をされているか、また、補助金につ

いて意見をお聞きするため、平成30年7月にアンケートを実施させていただきました。調査対象は、平成25年度から平成29年度まで、市民公益活動補助金の交付を受けられた14の団体でございます。

調査内容につきましては、活動年数や会員数、補助金の申請理由、その効果などについて10項目について行ったところでございます。13団体からご回答をいただき、要望が多かった補助金の交付方法、交付決定までにかかった経費についての考え方、また備品の対象について整理を行い、制度の拡充を2019年度から行うことといたしたものでございます。

以上でございます。

○森西正委員長 川本課長。

○川本市民課長 それでは、市民課に係ります3点のご質問にお答え申し上げます。

まず質問番号8番、予算概要34ページの戸籍事務事業、戸籍システム更新委託料の内容でございます。

現在使用しております戸籍システムにつきましては、平成27年1月から使用しております。来年1月で5年が経過いたします。一般的に情報システムにつきましては、5年ごとに更新するというのが一般的なものとなっております。戸籍システムにつきましても、現在のシステム業者で更新を行うものでございます。具体的には、端末やサーバーなどのハードウェアの入れ替え等でございます。

続きまして、質問番号9番、予算概要の68ページ、斎場管理事業でございます。

いわゆる残骨灰の処理ということでございますけれども、本市における残骨灰の処理業務につきましては、指定管理者が行う業務の範囲に含まれておりますので、予算としましては、指定管理料の中に含まれ

ております。

指定管理者からは、残骨灰の業務は、施設の総合管理業務の中にまとめて委託をしているというふうに報告を受けております。

どこでどう処理しているかということでございますけれども、最終的には業者と契約をしたお寺に運搬しまして、供養をした後、埋葬しているというふうに聞いております。

チェックということでございますけれども、市が直接チェックというのは行っておりませんが、指定管理者のほうでチェックを行っているというふうに認識しております。

続きまして、質問番号10番、同じページの葬儀会館管理運営事業の葬儀会館空調設備等更新工事の内容でございます。

メモリアルホールにつきましては、竣工から21年が経過しております。空調設備も老朽化しておりますことから、全面的に空調設備の更新を行うものでございます。また、効率的、効果的に工事を行うため、今後必要となります照明器具のLED化とあわせて、クロスの張りかえも同時に行いたいと考えております。本庁の工事との違いということでございますけれども、ESCO事業ではございませんが、空調設備の更新工事とLEDは同等の工事でございます。違いとしましては、あわせてクロスの張りかえも行うというところでございます。

金額の妥当性ということでございますけれども、これにつきましては、今年度設計の委託をしております。設計に基づいて金額をはじき出してありますし、あと建築課にも監理をしていただいておりますので、妥当なものだと考えております。

続きまして、同じく葬儀会館の土地借上料の内容でございます。これにつきましては、立体駐車場の部分の土地の賃借料でございます。金額につきましては、前年度と同額でございますけれども、現在、土地の所有者と値下げの交渉を行っておりまして、決算段階では、幾らか減額となるものと思います。

以上でございます。

○森西正委員長 妹尾課長。

○妹尾文化スポーツ課長 それでは、文化スポーツ課に係ります5点のご質問にお答えいたします。

まず質問番号11番、予算概要の26ページ、文化ホールの修繕料につきまして、その内容についてということでございます。文化ホールの修繕料につきましては、文化ホールの舞台の幕が経年劣化により、取りかえが必要ということになっておりますので、その修繕料を計上いたしました。

リニューアル工事が平成28年度終了しておりますけれども、リニューアル工事は、主に客席や舞台、ロビー、トイレの改修といった市民が利用する部分を主に行っておりまして、設備の修繕については、耐用年数等も考えて、順次修繕が必要な時期に行うこととしておりましたので、今回の予算計上となっております。

続きまして、質問番号12番、予算概要42ページ、スポーツ教室振興事業で、平成30年度にあったトレーニング指導等派遣委託料が計上されていない点についてのご質問でございました。平成30年度は、このトレーニング指導者等派遣委託料の中に体力テスト測定業務、トレーニング教室委託料、トレーニング指導講師の派遣委託料、健康体操教室講師派遣委託ということに421万2,000円計上しており

ました。この中で、平成31年度については、体力テスト測定のほうは、業務委託料の計上をさせていただいておりますが、トレーニング教室の委託料、トレーニング指導講師派遣委託料につきましては、平成31年度から指定管理者が変わりまして、トレーニングルームを見るというトレーナーの常時配置をするという予定にしておりますので、このトレーニング指導講師を派遣してもらうということが特に必要なく、指定管理料の中で計上できているということでございます。

また、健康体操教室につきましても、市で実施をするということではなくて、指定管理者が自主事業で実施をする予定ということ聞いておりますので、市では講師派遣委託料を計上しないという形で考えております。

続きまして、質問番号13番、予算概要42ページ、摂津ふれあいマラソン大会について平成31年度の大会の計画、内容はというご質問でございました。平成30年度に実施しました際には、前年度に比べて親子チャレンジランの定員を100組から120組にふやし、当日は定員を上回る申し込み状況となりました。ここの部分については、安全性を考えればこれ以上はふやすことは難しいかと考えておりますので、平成31年度にも同じ定員ということを考えているところでございます。予算計上段階では特に大きな変更というのは想定しておりませんが、平成30年度の内容についていろいろご意見をいただくところにつきましては、平成31年度の運用の中で活かしていきたいというふうに考えております。

次に、質問番号14番、予算概要42ページ、体育施設維持管理事業の中の青少年

運動広場改修工事の現況とスケジュールということでございました。青少年広場の改修につきましては、実施設計を行っているところでございます。平成31年度に実施設計が完了いたしましたら、工事に着手をいたしまして、平成31年度末の完成を目標に進めていくというところで考えております。改修の内容の主なものとして、設計で考えておりますものが管理棟及び倉庫の集約化、駐車場台数を少しでもふやすというところと、夜間照明のLED化といったところ、更衣室、トイレの整備というところも考えております。一時避難場所に指定もされておりますので、防災の備蓄用品を置くといったスペースの確保についても検討しているところでございます。

続きまして、質問番号15番、予算概要42ページ、温水プール管理事業のところ指定管理者が平成31年度から変更するというところで、引き継ぎ等、今の状況ということのご質問でございました。4月1日から指定管理者が変わるということで、現在、働いていただいているスタッフの方につきまして、新しい指定管理者と相談、協議をしております。残っていただける方については市民の方、利用者のほうに、混乱が生じないようにということでも当たっていただいているというところでございます。内容につきましても大幅な変更というところは、事業の内容の中では特になく、水泳教室も引き続き指定管理業務の中で行っていくということでございます。

また、提案としまして指定管理者独自の市民対象の自主事業ということで新たなサービス向上に向けた事業を考えていくというところはお聞きしております。市民サービス向上に向けて新しい指定管理者

で努力をいただきたいということでお話をさせていただいているところでございます。

以上でございます。

○森西正委員長 吉田部参事

○吉田市民生活部参事 それでは、産業振興課にかかります4点のご質問についてお答えさせていただきます。

質問番号16番、予算概要78ページの中小企業育成事業でございますが、今年度、評価検証をしております産業振興アクションプラン評価検証の検証結果ということで、1,500事業所に郵送調査の方法で12月に調査を実施しております。その主な調査内容は企業概要、サービス利用について、経営状況、企業立地、雇用状況などについてご質問させていただいております。平成24年度に実施の前回調査の項目を主な参考としております。調査内容は前回調査と比較できる項目ですので、幾つか調査の内容を見させていただきますと、中小企業の大きな課題である事業継承の状況について、やはり大きな課題とはなっておりますが、親族内継承の予定という比率等が高くなってこの5年間に事業継承が進みつつあるということが確認できる状況でございます。

また、本市に事業所を設置したメリットということもお聞きしますと、得意先、顧客が近いや道路網が整備されている、地価や賃料が安いなど、前回同様高い数値を示しておるなどの傾向が見られます。これらの検証結果を4月下旬ごろに開催予定の摂津市産業振興アクションプラン懇話会にて、報告させていただく予定でございます。また、そのアクションプラン懇話会で前回の計画以降開始させていただいた事業である、摂津優品(せつつすぐれもん)

なども新たな事業として報告予定をしております。

これらの報告などをもとに、第2期産業振興アクションプランの作成の資料として議論をしていただく予定をしております。産業振興アクションプランの懇話会は8名以内の委員の方を予定しており、年5回程度を予定している状況でございます。

続きまして、質問番号17番、予算概要78ページ、商工業活性化対策事業補助金が来年度40万円減額されていて、今年度も減額されているというような状況で、どのような現状なのかとのご質問かと思えます。商工業の活性化事業の補助金につきましては、商工業の活性化を図ることを目的として、商工関連団体において、各種事業に対して補助するものでございまして、商店街の街路灯の維持管理事業に対する補助でありますとか、商店会や関係団体が主催する100円商店街など、イベントに対して補助するものでございます。予算を減額した要因でございますけれども、街路灯をLEDに改修したことによります電気代の減少や、また各商店街で取り組まれています集客イベントなどについて、新たな取り組みもございましたが、中には中止されたものもございましたので、そういう現状を勘案して予算を計上させていただいた状況でございます。

続きまして、質問番号18番、同じく予算概要78ページ、南千里丘分室の産業支援ルームのここ数年の利用状況でございますけれども、平成27年度に関しましては61回、平成28年度は63回、平成29年度は64回の状況でございました。今年度に関しましては、この2月末で74回でございまして、3月には5回の予定が入っている状況でございます。産業支援ルー

ムの貸し出し利用に関しましては、地域産業のための活動を行う団体に限定して実施しておるんですけれども、本年度から利用率向上に向けての取り組みといたしましては、試行的に一定期間限られた臨時的な使用が目的でかつ市の職員が同席しておるといった状況と、あと施設の機能やセキュリティなどの管理上の問題など、一定の制限がございます。その利用の範囲で拡大を実施させていただきました。そのため個別の相談ということになっておったんですけれども、例えば、今回の災害等でコミュニティプラザで一時利用できなかった場合、市民の方に対する説明会等を産業支援ルームでしてございまして、そういう臨時的な使用を目的に利用していただいたりという現状でございます。平成31年度に関しましては、ここにも予算計上させていただいております商品券事業の実施を予定してございまして、この産業支援ルームの施設活用を見込んでおる状況でございます。今後もさらなる有効活用に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

続きまして、質問番号19番、同じく予算概要78ページ、スクラッチカード発行事業で報償金が平成30年度計上されていない理由についてでございますが、報償金の予算執行の目的として、スクラッチカード発行事業の特別賞の景品を購入させていただいておりました。

しかしながら、平成29年度に実施しました景品としてロボット掃除機や1,000円分のクオカードなど、当選の申請に関しましては、この掃除機に関しては60%、1,000円分のクオカードに関しては48%と、利用率が低い状況が出ておりました。

また、参加店舗から本事業は地域の商店

街の小規模事業所や消費需要を促すものであるのに、景品がクオカードというのはどうなのかなとご質問等をいただきました。平成30年度、これらの状況とか、意見を参考に特別賞を3,000円分の商品券としてスクラッチカード参加店舗で利用できるという変更をさせていただいた状況でございます。その結果、特別賞の利用率は94%と利用者の方に大変満足いただいております。また、特別賞自身が商品券は全て地域の商店街の小規模事業所で利用できるという仕組みでございますので、結果として大変いい結果ではなかったのかなと考えております。それらの状況もございましたので、平成30年度の予算計上に関しましては、スクラッチカードの300円券と同様に、スクラッチカード交付金として予算計上させていただいております。

○有場保健福祉課長 それでは、保健福祉課にかかわりますご質問にお答えいたします。

質問番号20番、予算概要44ページ、地域福祉計画推進事業についてでございます。平成31年度予算では、当該事業におきまして、地域福祉計画の改定を予定しております。これにかかわります委託料等を計上させていただいております。平成30年4月の社会福祉法改正に伴いまして、地域福祉計画が各福祉計画の上位計画として位置づけられ、これによりまして、地域福祉計画に高齢者、障害者、児童の福祉、その他の福祉計画における共通する事項を盛り込むことが求められるようになりました。これを受けまして、大阪府でも地域福祉支援計画の改定を前倒ししまして、今年度中に計画改定を行うこととなっております。本市におきましては、現行の

第3期地域福祉計画は平成32年度までとなっておりますが、これを前倒しすることで早期に各福祉計画の体系化を図りまして、地域共生社会の実現に努めてまいりたいと考えております。

続きまして、質問番号22番、予算概要66ページ、まちごとフィットネスヘルシータウン事業についてでございます。まちごとフィットネスヘルシータウン事業につきましては、まち全体をフィットネスの場として捉え、これまで市民が自ら地域づくりに取り組むための環境の整備や健康づくりに対する意識の醸成に努めてきたところでございます。

この中で特に市民に歩いてもらうことを重要視しまして、ウォーキングコースの設置等に取り組んできたところでございます。今月21日には目標に掲げておりました市内10コース目となるウォーキングコースが鳥飼地域に誕生することとなります。平成31年度予算におきましては、これまでまちごと元気ヘルシーポイント事業で管理しておりました、健康マイレージの取り組みをまちごとフィットネスヘルシータウン事業に組み込み、ウォーキングの推進に関する取り組みを一体的に進めてまいりたいと考えております。

また、今後はウォーキングコースや健康器具をそれぞれの地域において、市民に気軽に利用していただくことが重要であると考えており、携帯版のウォーキングマップを各地域に配布していくなどの取り組みを進めてまいりたいと考えております。

なお、健康マイレージの参加者につきましては、現在、ようやくですが800名を超える状況でございます。

以上でございます。

○森西正委員長 荒井課長。

○荒井高齢介護課長 高齢介護課にかかわります2点のご質問にお答えいたします。

質問番号23番、せつつ高齢者かがやきプラン策定委託料の内容と進め方についてでございます。

このプランは老人福祉法及び介護保険法に基づき、3年ごとに策定しております。2021年度から開始する第8期計画を策定するに当たり、国から示される介護予防・日常生活圏域ニーズ等の調査を市民を対象に実施することとなっておりますことから、調査業務にかかる委託料を計上するものでございます。詳細な内容、進め方につきましては、今後、国から示されることになっておりますが、予算としましては、第7期計画と同様に調査票の作成、発送、集計、分析等にかかる業務の委託費用を計上しております。

続きまして、質問番号24番、緊急通報装置設置についてでございます。このサービスは家庭での事故や突然の病気の際に、ペンダント等のボタンを押すと係員が駆けつける装置を貸与するものでございます。減額理由といたしましては、1台当たりの単価が下がったことが主な要因でございます。

また、利用者数につきましては、各年度末時点で、平成27年度は169人、平成28年度は145人、平成29年度は122人となっております。

○森西正委員長 森川課長。

○森川障害福祉課長 それでは、障害福祉課にかかりますご質問にお答えさせていただきます。

質問番号25番、予算概要50ページ、福祉タクシー事業の対象者を含めた事業の内容でございますが、福祉タクシー事業

の内容といたしましては、在宅の重度障害者に対し、タクシー料金の一部を助成することにより、日常生活の利便と社会参加の促進を図り、もって障害者福祉の向上に資することを目的としているものであります。対象者につきましては、在宅の身体障害者手帳1、2級、または、療育手帳A所持者で生計中心者の市町村民税所得割額20万円以下の世帯の方であります。この方々にタクシーの初乗り運賃相当額を助成する年間24枚のタクシー利用券を交付しているものでございます。

○森西正委員長 松木課長代理。

○松木生活支援課長代理 それでは、生活支援課にかかりますご質問、質問番号26番についてお答えさせていただきます。

まず、本市の平成31年1月末日現在の生活保護の実施状況でございますが、被保護世帯数が1,182世帯、被保護人員数が1,582人であり、現在、生活支援課には11名のケースワーカーが配置されておりますので、ケースワーカー1人当たり平均107世帯を担当しているところでございます。社会福祉法上では、被保護世帯80世帯につき、ケースワーカー1名を標準として配置するように規定されておりますことから、本市のケースワーカー配置数は標準数に比して3名不足している状況でございます。生活支援課といたしましては、実施体制の強化に向けてさらなる事務の効率化を図りながら、引き続き人事課とも協議を行ってまいりたいと考えております。

○森西正委員長 飯野課長。

○飯野環境政策課長 環境政策課に係る3点のご質問にお答えいたします。

まず、質問番号27番、地盤沈下1級水準測量委託料についてのご質問でござい

ます。平成30年度の水準測量につきましては、新たに鳥飼北小学校とJR東海新幹線鳥飼車両基地の水準点を加えた市内9地点について地盤の状況を確認するため、昨年11月に実施いたしました。測量結果につきましては、現在、国土地理院の審査を受けている段階であり、今年度中に入手できる予定でございます。調査結果を入手いたしましたら、ホームページや広報せつつで掲載しお知らせしてまいりたいと考えております。

2点目、質問番号28番、環境美化ボランティアについてのご質問でございます。

まず、登録状況でございますが、今年度はきのうまでの集計で640人の登録があり、昨年度の661人と合わせまして、登録者数は1,301人となっております。

続いて情報紙でございますが、環境美化ボランティアに対して、環境美化に関する情報を提供することにより、美化活動の活性化を図るとともに、環境美化ボランティアへの帰属意識を高めたいと考えております。掲載内容として、環境美化に関するトピックス、自治会等が実施する清掃活動の案内などを考えております。

3点目、質問番号29番、LED照明事前調査委託料に関するご質問でございます。

現在、本市ではせつつ・エコオフィス推進プログラム4により、市の事務や事業から発生する温室効果ガスの排出削減に取り組んでおり、同プログラムのメニューの一つとして、公共施設の照明のLED化に努めるよう推進しているところでございます。LED照明の導入に当たりましては、昨年度、本庁舎で実施いたしましたESCO事業のほかに、一括で購入する方法やリース方式等の手法がございますが、それぞ

れに一長一短がございます。そのため、公共施設のLED照明の導入について、より効率的、効果的な手法を検討するための調査業務を委託するものでございます。

以上でございます。

○森西正委員長 三浦課長。

○三浦環境業務課長 それでは、環境業務課にかかります2点の質問にお答えいたします。

質問番号30番、リサイクルプラザ整備事業の機械器具費でございます。現在のペットボトル圧縮梱包機につきましては、平成13年3月から稼働し、今年度で17年目となっております。既にメーカーから、今後トラブルが発生しても修理の部品調達が困難になると言われており、老朽化が著しく、平成25年度以降、修理費用も合計で約210万円を超えているような状態でございます。そのため、新しいペットボトル圧縮梱包機に更新するための予算を計上したものでございます。

続きまして、質問番号31番、ごみ収集処理事業の臨時ごみ収集運搬委託料でございます。臨時ごみの収集につきましては、これまで原則直営にて、通常のごみ収集終了後の午後から行ってまいりました。臨時ごみの収集件数につきましては、可燃ごみ、不燃ごみ、そして、それぞれの有料、無料合わせまして、過去4年間の平均ではございますが、延べで2,300件で、そのうち平均4%程度を業者委託している状況でございます。

しかし、昨年、10月から蛍光灯などの水銀使用製品一般廃棄物の分別収集を直営で開始しましたことから、臨時ごみの収集をこれまでと比べ、大幅に委託することが必要となったことから、委託料の増額を計上させていただいたものでございます。

以上でございます。

○森西正委員長 鈴木部参事。

○鈴木環境部参事 それでは、環境センターにかかります2点のご質問にお答えいたします。

質問番号32番、予算概要72ページ、環境業務課の廃棄物広域処理推進事業の橋梁等基本設計委託料の内容とスケジュールについて、私のほうからご答弁申し上げます。

昨年の12月に茨木市と広域ごみ処理基本合意書を締結し、広域処理の開始を平成35年度をめどとすることが確認できましたことから、搬入路の整備を平成34年度末までの完成を目指して進めてまいります。整備内容は摂津市リサイクルプラザから水路を渡って、茨木市環境衛生センターに直接搬入するために橋梁と専用道路の整備における地盤調査などを含めた基本設計の委託料を計上させていただいたものでございます。

なお、本市内の橋梁や専用道路の整備につきましても、本市の負担となっております。

次に、質問番号33番、予算概要72ページ、環境センターごみ処理施設維持管理事業の修繕料の増額についてご答弁申し上げます。

環境センターは、3号炉が稼働後36年を経過していますことから、老朽化が進んでおり、施設維持のために修繕計画を立て、施設の耐用年限である平成40年度までの維持を目指して取り組んでまいりました。平成31年度の当初予算要求におきましても、今までどおりと同様に、平成40年度までの維持をするための修繕料として、当初、2億110万円を要求いたしましたが、平成30年12月25日に茨木市

と広域ごみ処理の基本合意書が締結となりましたことから、環境センターでの焼却を平成34年度末をめどとすることになりましたことから、修繕料をもう一度見直ししまして、3,440万円、26.6%の減をいたしまして、1億6,670万円の要求をさせていただいております。

以上でございます。

○森西正委員長 光好委員。

○光好博幸委員 ありがとうございます。

それでは、2回目の質問をさせていただきます。

まず、質問1、自治振興課のところの補正予算書24ページ、防犯カメラ保守点検委託料についてということで、非常に入札で安かったということで、ちょっとびっくりするほど安いと思いましたが、引き続き、競争の原理を働かせて対応いただければと思います。これは要望としておきます。

質問2、予算書30ページのコミュニティセンター使用料です。増額されている理由について理解いたしました。コミュニティセンターは市民ルーム等々同じとは言いませんけれども、これも稼働率が極端に低いと認識しておりますけれども、今年度、稼働率アップに向けての取り組み。どのように取り組まれようとしているのかというところの施策についてお聞かせください。

質問3、20ページの中国蚌埠市の交流事業について、平成31年度の事業内容は理解いたしました。昨年は恐らく計画していたけれども、交流できなかったんですね。ということで、ことしは10月にこられるということでございますので、ぜひ、実現に向けて取り組んでいただけますように、

よろしく願いいたします。これは要望としておきます。

質問番号4、22ページ、LED防犯灯等防犯推進事業です。平成31年度の取り組み内容をお聞かせいただきました。いろいろなところに設置されて、おおむね市内全域にわたって設置は完了していると思いますけれども、先ほどご答弁もありましたけれども、いろんなところから防犯灯の設置というのは要望がくると思います。改めて本市の設置の基準とか、あるいは、いろんなところから言われてきたときのプライオリティ、優先順位の考え方をお聞かせいただければなと思います。

質問番号5です。自治振興課です。22ページの防犯カメラ設置事業におきまして、事業内容についてお聞かせいただきました。試験的にリースを始められるということで、平成25年度からとおっしゃってましたか。これは昨年まで本市が負担していた経費がリースでやることによって向こうにいくということですか。そういうことでいきますと、リースによって財政効果が見込まれるかと思うんですけれども、どれほど見込まれるのか試算しているのかということ、また管理方法が変わってくるかと思うので、そのあたりもお聞かせください。

質問6です。予算概要24ページ、市民ルームフォルテ管理事業及び正雀市民ルーム管理事業におきまして、稼働率をそれぞれ聞かせていただきました。特にフォルテのほうは低いと思います。それぞれもっと稼働率を上げていく必要があるかと思しますので、稼働率アップに向けての取り組みをどうお考えかお聞かせください。自治振興課、これで終わりです。

質問7番目です。予算概要26ページの

市民活動支援事業についてお聞かせいただきました。確か、過去の答弁でいきますと平成29年度は初期事業コースとして1団体、発展事業コースで6団体に補助金を交付されたというふうに、平成29年度の決算審査でおっしゃっていたと思います。現時点で、平成30年度はどれぐらいなのかという実績をお聞かせいただきたいと思います。

次、市民課です。質問8、34ページ、戸籍事務事業の戸籍システム更新委託料です。5年で更新ということをお聞きしました。これはハードの入れかえです。せっかくなので、僕は単純更新ではなくて、いろんな機能を向上するべきではないかなと思って聞かせてもらったんですけれども、例えば、市民サービス向上につなげるとか。あるいは、戸籍業務のさらなる正確化とか、効率化を図るべきなのではないかなというふうに思っております、ぜひ、今後、そういうタイミングがあれば、検討いただきたいと思います。これは要望としておきます。

予算概要68ページ、斎場管理事業についてお聞かせいただきました。流れも聞かせてもらいましたけれども、ちょっと気になったのは委託業者に任せているところなんですけれども、しっかりとチェックがされていないというふうに僕は認識したんですけれども、そこは委託業者に渡しても、しっかりどういうふうに運用されているのかチェックするべきだと私は思っています。そのあたりの考えをお聞かせいただきたいのと、あと、遺骨がそうなるっていくために、法律に基づいて、申請なり、許可なりを得ていると思うんですけれども、これは何の法律によって許可されているのかということと、あとよく最近、遺

骨を樹木葬にするとか、海に散骨するとか、いろいろあると思うんですよ。よくニュースとかで聞きます。そのようなとき、本市としてどんな許可を出すのかというのを、いろいろ新聞報道等載ってますので、しっかりと確認しておきたいというふうに思っておいて聞かせてもらっていますけれども、そのあたりチェックに関するのと許可のところを聞かせてください。

質問10です。予算概要68ページ、葬儀会館管理運営事業というところの空調設備等更新工事です。土地の借上料についてもお聞かせいただきました。まず、空調設備の更新というところで行くと、先ほどご紹介ありましたけれども、本庁のESCO事業は、照明と空調、水道の光熱水費ですね、省エネを35%実現させることと。確か10年間で光熱費の5,000万円掛ける10年間で5億円払うことによって、工事とか、照明器具の本体を含めて入っているというふうに私は認識しました。恐らく検討されていると思うので、庁舎がやっているESCO事業と今回、1億1,500万円の更新工事との比較ですよ。検討されていると思うんですけれども、そのあたりのこと。詳細はいいとしましても、どういう優位性があるかっていうのを改めてお聞かせいただきたいと思います。あと土地借上料につきましては、今、値下げ交渉中というところでお聞きしましたがけれども、私の認識では葬儀会館裏の借地、ここを改修するために平成23年に裏側の今の砂利のところの土地を購入したと認識しているんです。だから、今、値下げ交渉されているということなんですけれども、この借り上げは今後まだ継続されるのかということをお聞かせいただきたいと思います。というのも、駐車

場は両方ともあいているんですけども、ほぼほぼ裏の駐車場がメインになっていて、立体のところは封鎖されているときをよく見るので、そのあたりの考え方をお聞かせください。

質問11、文化スポーツ課に移ります。26ページ、文化ホール管理事業の修繕内容をお聞かせいただきました。平成30年度は滑車ですね。つり物の滑車を変えたというところで、今回は幕ということで場所も違うということなんですけれども、改めてほかにまだそういう要修繕箇所がどれくらい残っているのかということをお聞かせいただきたいのと、この幕を交換するに伴って休館を伴うと思いますので、今、考えられている時期とか、休館期間がわかっているならば教えてください。

質問12です。42ページ、スポーツ教室振興事業において、平成31年度の取り組み、事業内容をお聞かせいただきました。指定管理者が変わることによってトレーナーが常駐するというところで対応が変わってくると思います。新たに市民目線に立ったときに、市民にとって何が変わるのかということをお聞かせください。

続きまして、予算概要40ページ、摂津ふれあいマラソン大会事業というところで平成31年度の事業内容、また平成30年度の中身についてもお聞かせいただきましたけれども、これから振りかえられるのか、アンケートをとられるのかわかりませんが、反省点とか、課題等々いろいろあると思うんです。それを平成31年度にどう反映させていくのかなというのが非常に気になっていまして、何かというと、今回、私も走ってみて、コースが逆周りになっておりまして、最後に下り坂でラストスパートして、ちょっとつんのめって

いるとか、足に大分疲労があるところでダッシュしないといけないとか、ちょっと気になったので、そのあたりの声がなかったのかとかいうのも含めて、どういうふうにしていくのか。やり方でも構いませんので、しっかりと反映させていただきたいと思っておりますので、そのあたりお聞かせください。

質問14番、42ページ、体育施設維持管理事業というところで、青少年運動広場のところを聞かせていただきました。青少年運動広場はいろんな団体が使われていると思っておりますけれども、私の認識不足かもしれません。工事中の対応が気になりまして、どれぐらい使えなくなる期間があるのかなのかというところをお聞かせいただきたいと思っております。

文化スポーツ課は最後になると思っております。質問15番、42ページの温水プール管理事業におきまして、今、引き継ぎのところをしっかりとやっているというふうにお聞きしたけれども、私、実は父兄という話をしていると、ある団体だけなのか、先生が全員かわると聞いて、すごく困惑してましたし、過去習っていた人もすごく、非常に残念がって、もともとは今のご答弁でもかわらないというふうにお聞きしたと思うんですけれども、実際はかわるとこの休みのときに聞いたんです。どうなっているのみたいな話もお聞きしていますので改めてそのあたりの実態とかどうなっているのかというところをもう一度、済みません、私の認識違いかもしれませんけれども、お聞かせいただきたいと思っております。

質問16番目、産業振興課になります。78ページ、中小企業育成事業というところで、アクションプランの評価について、あと課題等々聞かせてもらいました。いろんな角度から検討されているかと思いま

す。ぜひ、第2期の産業振興アクションプランに反映させていただきたいと思っております。

また、先ほどもふれてましたけれども、今年度も摂津優品（せっつすぐれもん）認定制度もさらに展開されると思っております。私は、これは摂津ブランドを高めるいい取り組みだと思っておりますので、どう進められようとしているのか。今回、食のほうにもいっていたと思っておりますけれども、どんな分野を対象にどれだけの数をふやそうとしているのかなど、もし、具体的に想定されていたらお聞かせください。

質問17番、予算概要78ページ、商工業活性化対策補助事業について、今お聞かせいただきました。商店街は大型店舗の影響もあってどんどん寂しくなっていると思っております。なかなかイベント開催等々、難しいとは思いますが、改めて今後の進め方を確認させてもらいたいと思っております。

質問18番目、78ページの南千里丘分室につきまして、平成30年度いろいろ工夫されていて、イレギュラーなことがあったのかもしれませんが、ことしはふえてますよね。ということで、これは要望にしておきたいと思っておりますので、さらに利用率を上げられるように頑張ってもらいたいと思っております。

というのも、毎年1,000万円近く費用をかけてやっていますので、前は一般の貸し出しは考えていないというふうにいってました。それも枠組みを広げる考えもあると今確認できましたので、しっかりと利用率を上げていただきますように、これは要望として終わっておきます。

産業振興課は最後です。四つ目になると思っております。質問19、予算概要78ページ

のスクラッチカード発行事業で、平成31年度の事業内容をお聞かせいただきました。これは私が調べきれなかったんですが、ここ数年の参加店舗の推移がもしわかれば教えていただきたいなというふうに思っているのと、先ほど特別賞が好評だったというふうにお聞きしたんですけれども、僕は一方で応募が少なかったというふうに聞いたこともあって、そのあたりどうなのか。もし、特別賞に関して何か工夫されている点があるのであれば、せっかくでするので参加店舗数をふやして、活性化を図っていただきたいと思いますので、そのあたりをお聞かせください。

質問20です。44ページの地域福祉計画推進事業、これは保健福祉課に移ります。

平成31年度の事業内容についてお聞かせいただきました。ご答弁にもあったかと思えますけれども、社会福祉協議会との協力連携が必須というふうにおっしゃってましたし、私もそう思っています。なかなか課題も多いかと思えますけれども、どのようにアプローチをしていくのかをお聞かせください。

保健福祉課は最後になります。質問22番、66ページです。まちごとフィットネスヘルシータウン事業ということで、参加人数も800名超えるというふうに回答をいただきましたよね。けれども、これは2,000人を目標にしていると思います。前は500人超で200人以上ふえておりますけれども、改めてこれからまだまだふやしていかなければと思いますので、どのように働きかけていくのかというのをお聞かせください。

質問23、46ページ、せっつ高齢者かがやきプラン推進事業において、委託内容についてお聞かせいただきました。202

1年度から開始する第8期の計画に向けてということで理解しました。高齢者の方々が住みなれた地域で自分らしく住み続けられますように、引き続きよろしくお願ひしたいと思います。これも要望としておきます。

高齢介護課で質問24です。48ページのひとり暮らし高齢者等安全対策事業というところで減額されている理由と利用者の状況をお聞かせいただきまして、ここ数年でいきますと、利用者が50人ぐらい減っているというふうに理解しました。冒頭申し上げましたけれども、本当に非常な有効な装置だと思っておりますし、これから超高齢社会を迎えるに当たって、もっと利用者をふやすべきではないかというふうに思っています。これは条件がいろいろあると思うんです。この条件も含めてサービスを受けたいという希望者も多いのではないかなというふうに思っていますけれども、そういった希望者の把握であったり、あるいは、利用者が減少している理由について本市としてどうとらえられているのか。改めてお聞かせいただきたいと思います。

障害福祉課、質問25、50ページの福祉タクシー事業です。事業内容についてお聞かせいただきました。対象が精神障害者の方が対象になっていないように私は受けとめておりまして、恐らくそうだと思います。改めて対象をもうちょっとふやしていくという考えはないのかだけお聞かせください。

生活支援課、質問26です。これは今の状況ですね、世帯数とケースワーカーの状況をお聞きしました。ケースワーカーは11人ということで、1人当たり100世帯を超えていますね。だから、標準は80世帯

以上ということで何か手を打たなければならぬと改めて再認識しています。代表質問でもあったかもしれませんが、改めて情報というか、新聞に載っていたことでいきますと、寝屋川市は府内で初めてタブレットを使ってやるということが書かれていました。寝屋川市は同じく5,400世帯の保護受給者に対して、ケースワーカー50人ということで同じぐらいの規模でした。要は何が言いたいかというと、そういうタブレット端末を導入されることによっていろいろ業務が軽減されているところもありますので、ぜひ、参考にさせていただきたいなというふうに思っています。この情報漏えい等々の問題もあろうかと思えますけれども、タブレットを使うことによって、例えば、簡単に情報を持ち運べたり、あるいは、提出書類の手間も軽減されたというところのメリットも紹介されていきましたので、ぜひ、ケースワーカーの体制は整備をしてほしいんですけど、一方で今の技術というか、例えば、タブレット等々を使って、人に対する軽減であったり、経費の削減にもつながると思えますので、ぜひ、検討いただきたいなというふうに思っています。これは要望としておきます。

環境政策課です。質問27、66ページです。環境測定・調査等事業についてお聞かせいただきました。測量結果は今年度中に手に入るということで、私が思うには、年に1回きっかりと誤差なく測定するというのも非常に大事だと思いますけれども、一方で前も言わせていただきましたけれども、経時的な変化というのがわからなければ、タイムリーにアクションを起こせないと思っています。改めて前にも言いましたけれども、測量技術というのは日々進

行してまして、人工衛星を使ったところで連続監視したり、あるいは、それでデータ解析してすぐにアラームを鳴らすなり、技術があるんですね。そのあたりの考え方をもう一度お聞かせください。

質問28です。68ページの環境美化事業、登録者数をお聞かせいただきました。一気に倍ぐらいにふえてびっくりしましたけれども、いいことだと認識しました。これは代表質問のときにもふれさせてもらいましたけれども、特に環境美化活動というのは市民主導の活動でもありますし、いかに市民の方々に参加していただくかというのがカギになるかと思えますので、引き続き広く呼びかけていただきまして対応していただけたらと思います。これは要望としておきます。

質問29、68ページです。温暖化対策事業につきまして、LED照明事前調査委託についてお聞かせいただきました。これはLED化に向けた事前調査ということなんですけれども、これはいろんな公共施設があるので、所管もまたがるかと思うんですけれども、この調査結果がどのように扱われるのかというのを確認の意味でお聞かせください。

質問30です。70ページ、リサイクルプラザ整備事業。これも機械器具費の内容についてお聞かせいただきました。理解いたしました。平成31年度は改めて200万円修繕料を計上されています。この梱包機もトラブルが多くて更新したということがあったかと思うので、ほかにトラブルが多い機器とか、あるいは、老朽化が激しいものがあるのかないのかお聞かせください。

質問番号31です。予算概要70ページです。ごみの収集処理事業について、増額

されている理由についてお聞かせいただきました。臨時ごみの収集を委託するというご答弁だったと思います。昨年、ご存じのように、自然災害が本市を襲いまして、地震、台風と非常に災害ごみが大量に発生したかと思えます。私自身もいろいろ地域をまわっているときに、市民の方々から、あるいは、自治会の会長からこのごみはどこにもっていったらいいのとよく聞かれましたので、今後、同規模といえますか、自然災害が発生したときは災害ごみですね、これは臨時ごみとは言わず、災害ごみと言ったと思うんですけれども、委託したというところもありますので、対応方法をどうするのかというのを確認の意味でお聞かせください。

質問32、環境センターです。

72ページ、廃棄物広域処理推進事業についてお聞かせいただきました。スケジュールの答弁が抜けていたような気がするんですけれども、もしふれていなかったら、そこを教えていただきたいのと、橋梁等をやることによって、向こうの環境センター内とつながると思いますので、その搬入の道路であったり、あるいは、橋梁設置にかかわるところの茨木市側との所掌範囲といえますか。そのあたり、これから詰めることになると思うんですけれども、どっちがどっちやねんと難しいところがあると思いますので、どのような扱いになるのか所掌範囲について、今わかっていたらお聞かせいただきたいと思えます。

最後です。質問33、これも環境センターです。72ページのごみ処理施設維持管理事業におきまして、修繕内容についてお聞かせいただきまして、広域化の方向性が見えている中で大きな支出を避ける必要がございますし、また、毎回修繕料をチェ

ックさせてもらっていますけれども、極力かけずに進めるのが大事だと思っています。現時点で大きな出費を伴う案件があるのかということと、広域連携が見えてきましたので、その開始までの修繕料の考え方を改めてお聞かせいただきたいと思えます。また多いですけれども、2回目は以上でございます。

○森西正委員長 暫時休憩します。

(午前11時53分 休憩)

(午後1時 再開)

○森西正委員長 再開します。

それでは、答弁を求めます。

丹羽課長。

○丹羽自治振興課長 それでは、自治振興会にかかわります2回目のご質問にお答えさせていただきます。

まず、質問番号2番、別府コミュニティセンターの稼働率を上げる取り組みについてお答えさせていただきます。

別府コミュニティセンターの使用の中心は、登録クラブでございます。別府コミュニティセンターで実施しております市民活動支援講座の企画につきましては、登録クラブになっていただくことを意識しながら企画を行い、平成31年2月現在、28団体となっております。年度当初と比べますと4団体ふえております。引き続き、登録クラブをふやしていけるよう努めてまいりたいと考えております。

また、使用者や使用団体の層を広げていくことが課題と考えており、別府コミュニティセンターまつり、市民活動支援講座やロビーイベントへ地域団体、自治会、こども会等に積極的に参加をお願いし、指定管理者と連携を図りながら、稼働率の向上を目指してまいりたいと考えております。

続きまして、質問番号4番、防犯灯の設

置場所の選定についてお答えさせていただきます。

設置場所の選定につきましては、夜間を含め、現場調査を行い、明るさ、周辺の状態、また柱を立てる場合は、埋設物等の状況を調査し、設置場所を選定させていただいております。なお、平成30年度は26灯を設置し、3灯の照度アップを行っております。

また、基本的に予算内での執行ということで考えております。

次に、質問番号5番、防犯カメラのリース料の効果額及び管理方法についてお答えさせていただきます。

今回の予算計上しております新規設置分及び更新分30台につきましては、従来どおりの購入の場合とリースの場合と、平成31年度から平成35年度までの5年間を経費比較したところ、約500万円の経費削減が見込めるところでございます。

なお、このリース料には、保守点検業務も含んでおることをつけ加えさせていただきます。

続きまして、質問番号6番、フォルテ並びに正雀市民ルームの稼働率を上げる取り組みについてお答えいたします。

ご承知のとおり、両施設とも本年4月から5年間の指定管理の期間がスタートいたします。現在、年度協定、基本協定及び次年度の事業計画策定に向け、指定管理者と協議を進めているところでございます。両施設とも稼働率を上げることを重要な課題と認識し、計画を作成していただいております。

ハード面では、稼働率の低い部屋の新たな使い方の提案や、既存の施設の改修などを検討しているところでございます。

また、ソフト面においては、積極的な自

主事業の展開、地域団体、大学との連携を進める予定でございます。

いずれにいたしましても、今回から利用料金制を導入いたしましたので、稼働率の向上が利用料の収入にダイレクトに結びつきますことから、指定管理者におかれましては、今まで以上に稼働率を上げる取り組みを意識しながら、事業を考えていただいております。市民サービスの一層の向上が図られると考えております。

次に、質問番号7番、市民公益活動補助金の平成30年度の補助金実績について、お答えいたします。

平成30年の市民公益活動補助金につきましては、発展事業コース4団体、人材育成事業コース1団体に交付しており、交付決定額の補助金の総額は115万3,000円となっております。

以上でございます。

○森西正委員長 川本課長。

○川本市民課長 それでは、質問番号9番の斎場管理事業についてでございます。

残骨灰の処理のチェックということでございますけれども、これにつきましては、処分業者から、指定管理者にはありますけれども、処分の報告書の提出がございません。今は指定管理者どまりでございますけれども、今後は、その報告書のコピーなどを市にいただくようにしまして、管理体制の強化に努めてまいりたいと考えております。

次に、散骨の許可ということでございました。通常は死亡届が出されたときに火葬許可証を発行しまして、斎場のほうで火葬を執行すれば、火葬の証明書を遺族の方にお渡しすると。遺族の方は、その証明書を持って、墓地なり、納骨堂なりの管理者に提出して、焼骨を埋蔵するというのが基本

でございます。散骨につきましては、特に許可がございません。

墓地埋葬法におきましては、焼骨の埋蔵は、墓地以外の区域に行ってはならないと定められております。骨を墓地以外のところに埋めるのであれば違法となりますけれども、埋蔵するのではなく、海への散骨は、直ちに墓理法に抵触することにはならないと、厚生労働省から見解が出されております。

続きまして、質問番号10番の葬儀会館の空調工事についてでございます。

E S C O事業との比較ということでございましたけれども、メモリアルホールにつきましては、現在、施設の今後のあり方を検討しております、なかなか10年間先の見通しが立たないことから、E S C O事業を採用せずに、通常の空調工事とLED化を行っていくこととしました。

経費の節減の部分でございますけれども、設計業者からは、LED化をすることによって、光熱費の約3割、金額にしまして、年間120万円程度の削減になるというふうなことを伺っております。

続きまして、葬儀会館の駐車場の件でございます。ご承知のとおり、今は南側の砂利の駐車場の利用が多くなっておりますけれども、月に何回かは立体駐車場のほうも使用することがございますので、今後も立体駐車場は継続してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○森西正委員長 妹尾課長。

○妹尾文化スポーツ課長 それでは、文化スポーツ課に係ります2回目のご質問にお答えいたします。

まず、質問番号11番、文化ホールの修繕で、今後もまだ出てくるのかということ

と、平成31年度に予定している修繕の文化ホールの休館をする期間ということのお問い合わせございました。

今後、文化ホールに係ります舞台の音響でありますとか、照明でありますとかといった設備につきましては、やはり耐用年数というのが出てくることで、修繕というのは今後も出てまいりますので、これは、年次計画的な形で順次行ってまいりたいと考えております。

また、平成31年度のこの取りかえに係ります文化ホールの休館期間でございますが、ホールの使用が少ない時期で、約2週間ほどを予定しております。ただ、貸し出し停止対象はホールだけで、練習室や展示室は、貸し出しの停止を行わないという形で考えております。

続きまして、質問番号12番、トレーニングルームの部分につきまして、市民にとって新しく指定管理者が変わって、何が変わるのかということのお問い合わせございました。

今までトレーニングルームの使用にしましては、トレーナーが不在のときでも、受講者証を発行して、トレーニングルームを使用できるようにということで、必ずトレーニング教室を受講していただかないといけないということがございました。

もう一つは、トレーナーがいる時間帯、こちらも限られた時間がございましたけれども、そちらの在館時間のときでしか、受講者証を持たない方については、トレーニングルームの使用ができないといった制限がございましたが、今後、トレーナーが常時在館いたしますので、トレーニングルームの開館時間に市民の方が使用していただくことは、特に制限というものがなくなるということと考えていただければと

思います。

続きまして、質問番号13番、摂津ふれあいマラソンについて、平成31年度にいろいろなご意見をどう反映するのかということで、先ほど光好委員からお話がありました平成29年度と平成30年度は、走るコースを逆にして設定していたコースがあったということで、坂を下ってすぐゴールとなるところは危ないのではないかというご意見がほかになかったかということでございましたが、これにつきましては、ご意見はあったとお聞きしております。ただ、もともと平成29年度と平成30年度で走るコースを逆にしたのは、スタートしてすぐの地点が少し狭いコースになっておりましたもので、多くの方が一気に狭いコースを走らないといけない状態が危ないのではないかといったことがありましたので、コースを逆に設定させていただいたことがございました。

来年度に向けましては、ご意見もいろいろあると思いますので、そういったご意見をお聞きしながら、また実行委員会のほうで、どういった運用が一番いいかということを検討してまいりたいと考えております。

続きまして、質問番号14番、青少年運動広場の改修する期間、当然グラウンドのほうが使えなくなるということになりますが、どのぐらいの期間を見込んでいるかというお問い合わせでございました。

現在のところ、実施設計が平成31年度に入りましてから完了とする形になりますので、実際の工事期間というのは、平成31年度の下半期と考えておまして、6か月程度はかかるのではないかと、今設計の段階で話をしているところですが、できるだけ使用停止期間が短くなるような形

で進めてまいりたいと考えております。

その使用できなくなる期間については、市民の皆様には、ほかのグラウンドをお使いいただくようにというご案内をさせていただく予定でございます。

続きまして、質問番号15番、温水プールに関しまして、指定管理者が変わるということで、コーチが皆さん変わられるという話があったけれども、どうかというお問い合わせでございました。

指定管理者が変わるということで、今までのスタッフについても、変わられる方、残られる方いらっしゃるという話はお聞きしております。ただ、平成31年度からも、温水プールの指定管理者の水泳教室というのは実施していくので、コーチの方は変わられるかとは思いますが、水泳教室はきちんと実施できるコーチというのは配置をするということでございますので、なじみの方がいらっしゃるというのは、いろいろ皆さん思いはあるかとは思いますが、水泳教室として、きちんと実施できていく形のコーチ陣の配置は、新しい指定管理者にもやっていただきますので、市民サービスの向上ということで、市のほうも指定管理者のほうも、ともに協力してやっていきたいと考えております。

以上でございます。

○森西正委員長 吉田部参事。

○吉田市民生活部参事 それでは、産業振興課に係ります3点のご質問について、お答えさせていただきたいと思っております。

まず、摂津優品（せつつすぐれもん）に関しまして、どのように育成していくのかというご質問ですけれども、現在、摂津優品（せつつすぐれもん）8商品を認定しております。来年度、予算計上としては、3

商品程度を予定して予算計上させていただいております。

摂津優品（せつつすぐれもん）に関しましては、中小企業を応援するというプロジェクトでございますので、今まで同様、大阪勧業展や摂津まつり、農業祭などの展示などを積極的に行っていたりとか、特に今年度は、地元のケーブルテレビで、摂津優品（せつつすぐれもん）を何度も取り上げていただいて、非常にPRができたのではないのかなと考えております。

そういうことで、ものづくりのまち摂津ということをPRしていくという機会を今後も捉えて、しっかりと行っていきたいと考えております。

そういうことを続けることで、第2期の産業振興アクションプランの中で、一定の役割を果たしていけるのではないのかと考えております。

続きまして、商工業活性化対策補助事業の今後の取り組みということなんですけれども、商店街等の活性化について、どのようにやっていくのかというご質問かと思うんですけれども、近年、なかなかオンラインショップなどの普及によって、消費者の方が、お店に行かなくても手軽に商品を購入できるような、そういう購買の変化などがあって、なかなか小売店などが厳しい状況ということを認識をしております。

そういう中で、平成28年度から平成29年度には、創業支援の一部として、空き店舗を使ったチャレンジショップなどを実施させていただいて、1団体が入居したりとかいうことの取り組みのほうは、実際行っておるんですけれども、なかなか現状としては、対策に関しては苦慮しているというような状況ではございます。

ただ、来年度、通行料や購買実態調査な

ども実施させていただきますので、第2期の産業振興アクションプランの中で、今後の対応について研究してまいりたいと考えております。

3点目のスクラッチカード発行事業に関しまして、取扱店舗なんですけれども、1年目の平成28年度は187店舗、平成29年度は209店舗、平成30年度は208店舗というような状況でございます。

また、今年度行った特別賞に関しまして、対象の当選の方200名おられるんですけども、応募のほうは289名というような形で行っております。

実際、平成30年度に関しまして、この特別賞の申し込みの方法に関しまして、できるだけ違う地域でもお買い物をしていただくように、地域を4地区に分けさせていただいて、その2地区分を集めないと申し込みができないというような仕組みにはさせてはいただいておりますけれども、なかなかそこまでいきつけとかということで、私も幾つかの店舗で、お客様にお会いしたときに、ちょっと仕組みに関してはどうなのかなというようなご意見は複数聞いておりますので、そういう仕組みに関しましては、工夫をさせていただいて、来年度よりよい形にできれば、と考えております。

以上でございます。

○森西正委員長 有場課長。

○有場保健福祉課長 それでは、保健福祉課にかかわります2回目のご質問にお答えさせていただきます。

まず、質問番号20番、地域福祉計画推進事業にかかわりまして、社会福祉協議会に関するお問い合わせでございます。

社会福祉協議会につきましては、先般の代表質問でも答弁させていただいている

とおり、行政よりも地域に身近な存在でございまして、今後の地域福祉の取り組みを進める上で、最も重要な存在であると考えております。

来年度、地域福祉計画の改定を行う予定でございしますが、これと同時に、社会福祉協議会でも、地域福祉活動計画、通称、ささえあいプランと申しておりますが、これも同時に改定する予定でございします。

このささえあいプランにつきましては、社会福祉協議会の方針、あるいは、今後の取り組みなどについて明記するものでございまして、地域福祉計画のアクションプランのような位置づけであると我々としては認識しております。

この計画改定に当たりましては、社会福祉協議会と連携を強化するとともに、最近では、地域の担い手不足等、重要な課題もございしますので、これらの課題をしっかりと認識した上で、効果的な取り組みを進めていくこと、また、地域におけるさまざまなニーズに今後も対応できるように、社会福祉協議会の機能の強化などにも努めていきたいと考えております。

次に、質問番号22番、まちごとフィットネスヘルシータウン事業における健幸マイレージの取り組みでございしますが、健幸マイレージの参加者につきましては、現在800名を超えている状況でございします。

これにつきましては、以前、事業実施しておりました健幸ノートでのマイレージの取り組みでございしますが、最終年度が800名弱の参加者でございました。ここは超えておりますが、委員がご指摘のように、今回のマイレージ事業の目標数には、全然及んでいないような状況でございします。これにつきましては、やはり新たな対策、改

善などが必要であると考えております。

これにつきましては、これまでは、各種イベントでのPRの強化、またはPR動画を作成しまして、NPO関係者にSNSで拡散していただくような取り組みもさせていただいたところですが、特に、従前、活動量計の配付のほうが最大1か月ぐらいかかっておりましたが、これにつきましては、ことし2月に活動量計を即日配布できるようにしまして、各種イベントでの出張受付、あるいは保健福祉課での窓口での即日の交付等させていただいておまして、これ以降、参加者はかなり伸びてきておまして、こうしたところで改善も見られているような状況でございします。

しかしながら、何度も申しますが、目標はまだまだ達成していない、達成できていない状況でございまして、引き続き、参加者の獲得等に向け、新たな取り組みなども含めて、PR強化に努めてまいりたいと考えております。

以上でございします。

○森西正委員長 荒井課長。

○荒井高齢介護課長 高齢介護課にかかわります2回目のご質問にお答えいたします。

質問番号24番、緊急通報装置の利用者が減少となっている理由についてでございします。

サービスの対象者は、市内に居住し、脳梗塞、心疾患等の重篤な疾患のために、常に緊急の事態が生じる恐れがある、おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者でございします。

なお、家族と同居していても、介護をしている方が就労等の事情により、昼間等不在の場合も含んでおります。

対象者の条件を重篤な疾患を持つ方に

限定しているため、それ以外の方はニーズがあっても利用できない状況でございます。また、新規利用者より、入院や家族との同居開始などで利用を廃止される方のほうが多くなっております。

新規利用者がふえにくい理由としましては、利用できるのが固定電話だけであり、携帯電話に対応してないことではないかと思っております。今後、利用者ニーズや社会状況の変化を踏まえまして、条件の見直しを検討し、利用促進に努めてまいりたいと考えております。

○森西正委員長 森川課長。

○森川障害福祉課長 障害福祉課にかかわります2回目のご質問にお答えさせていただきます。

質問番号25番、福祉タクシー事業における対象者拡大に対する考え方でございますが、委員のご質問の中にもございましたように、精神障害者保健福祉手帳所持者につきましては、対象とはなっておりません。

これまでも、精神障害者保健福祉手帳1級所持者であったり、施設入所者などへの対象者の拡大、また、助成内容の見直しに関しまして、さまざまなご意見をいただいているところではございます。

担当課としましては、他市制度の研究や見直しに関しての検討をこれまでも行ってきたところではございますけれども、対象者の拡大など見直しについては、財政負担が伴ってまいります。

福祉タクシー事業の助成は、市の単独事業でありますことから、拡大については困難であると考えており、現状の制度維持に努めてまいりたいと考えております。

○森西正委員長 飯野課長。

○飯野環境政策課長 環境政策課に係り

ます2回目、2点のご質問にお答えいたします。

まず、質問番号27番、地盤沈下の監視について、人工衛星の活用に関するご質問でございます。

地盤沈下の監視につきまして、現在、環境政策課では、年1回の1級水準測量のほか、国土地理院のSARマップの利用登録を行い、干渉SARと呼ばれる人工衛星を活用した手法による地盤の沈下の傾向の経時変動を把握することにも努めております。

干渉SARでは、おおむね100メートル四方の単位で3センチ以上の地盤変動を検出することができますが、現在、摂津市域で顕著な地盤沈下は確認されておりません。今後も1級水準測量と干渉SARを並行し、地盤沈下の監視に取り組んでまいります。

続きまして、質問番号29番、LED照明事前調査委託料に関し、得られた調査結果をどのように扱うのかというお問い合わせでございます。

委員がご指摘のとおり、庁内には施設を所管する課が多くございますが、得られた調査結果を参考に、それぞれの施設所管課、財政課等、庁内の関係課が協議を行い、導入方式や優先順位などを決定し、それぞれの施設所管課において、LED照明の導入を進めることになってまいります。

以上でございます。

○森西正委員長 三浦課長。

○三浦環境業務課長 それでは、環境業務課にかかわります2回目の質問にお答えいたします。

質問番号30番、リサイクルプラザの既存設備のご質問でございます。

リサイクルプラザでは、現在最も古い設

備につきましては、ペットボトル圧縮梱包機と同時に導入いたしました空き缶プレス機がございます。ペットボトル圧縮梱包機ほど老朽化は進んではおりませんが、古くなってきていることには間違いございません。そのために、必要に応じメンテナンスを行うとともに、更新についても検討していく必要があると考えております。

続きまして、質問番号31番、災害時のごみの対応でございます。

去年は、大阪北部地震、また台風21号と立て続けに災害に見舞われ、その都度多くの災害ごみが発生いたしました。特に、台風21号の影響による災害ごみにつきましては、市民の皆様から非常に多くの収集依頼がございました。今回の災害ごみの収集につきましては、災害の規模や被害状況、災害ごみの種類、分別方法などを考慮いたしまして、直営で行っております。

その際、自治会などで災害ごみを集めていただき、そのようなところにつきましては、土曜日と日曜日に集中して災害ごみを収集いたしまして、土曜日、日曜日で収集できなかった災害ごみにつきましては、臨時ごみの収集を一部、業者に委託することで人員を確保し、通常ごみの収集後、対応してまいりました。

今後につきましては、災害の規模や被害状況などを考慮した上で、災害ごみへの対応を検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○森西正委員長 鈴木部参事。

○鈴木環境部参事 それでは、環境センターに係ります2回目、2点の質問にご答弁申し上げます。

茨木市環境衛生センター内の整備及び橋梁等の整備スケジュールにつきまして、

ご答弁申し上げます。

本市が設置します橋を渡った先の茨木市環境衛生センター内の搬入路の整備につきましては、安全に計量や受け付け場所へスムーズに走行できるよう、現在、茨木市で長寿命化工事の設計と並行をしまして、場内の通路整備の検討が進められておられます。

なお、広域ごみ処理に係る施設整備費用につきましては、経費の40%を均等割、60%を人口割として両市が負担することから、長寿命化工事や場内搬入路などの整備費は、おおむね3分の1を本市が負担いたします。

また、橋梁等整備スケジュールといたしましては、平成31年度に基本設計、平成32年度に実施設計、平成33年度、平成34年度の2年間に入札、工事業者の決定、工事着手、工事完成を計画しております。

続きまして、質問番号33番、環境センターの修繕費の大きなものと広域処理開始までの修繕費の考え方につきまして、ご答弁申し上げます。

平成31年度に要求しております修繕の大きなものは、4号炉の冷却棟の内面整備を約6,500万円の費用を見込み、実施する計画を立てています。

冷却棟は、1,100度の高温燃焼ガスを一気に400度に下げるための施設であります。

この修繕により、前年度に比べ3,520万円、26.7%の増額となっております。

また、修繕の考え方につきましては、ごみ焼却施設は、市内で排出されるごみを停滞なく、安定した焼却を続けることが責務と考えており、故障したからといって、代替の施設はなく、広域ごみ処理施設の開始

までは、確実に焼却を続けていくことが必要と考えております。このことを念頭に置きながら、耐用年数の長い機器の新規入れかえを抑制し、オーバーホールなどの活用により、慎重に修繕計画を見直し、修繕費削減を継続して進めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○森西正委員長 光好委員。

○光好博幸委員 ありがとうございます。

それでは、3回目の質問をさせていただきます。もうほぼ要望とさせていただきたいと思いますが、何点か聞きたいこともありますので、よろしくお願いします。

まず、質問2の予算書30ページ、コミュニティセンター使用料ですね。稼働率向上の取り組みについてお聞かせいただきました。もうぜひ引き続き継続して、稼働率の向上を努めていただきますように要望としておきます。

次は、質問4です。

決算概要22ページのLED防犯灯等防犯推進事業において、設置の基準とプライオリティの考え方をお聞かせいただきました。しっかり現場も確認していただいているということなんですけど、暗所があっても、さっきも言いましたけど、自治会等がないところは行政に声が届かないところもあるかと思えますので、今後も引き続き、精力的に現場調査等々を積極的なアプローチをお願いして、要望とします。

続きまして、質問5、22ページ、防犯カメラ設置事業において、リースによる財政効果と管理方法ということで、5年間で500万円の経費削減が見込まれるということです。

これももう一つ聞きたいんです。先ほど、平成25年度までのやつをリースにした

というふうに聞いたんですけど、平成26年度以降はどうするのかということをお聞きください。

質問6です。

24ページ、市民ルームフォルテ管理事業及び正雀市民ルーム管理事業の稼働率アップへの取り組みということで、ぜひ精力的に取り組んでいただきますように、これも要望としておきます。

それと一つ気になってるのが、稼働率が低いのは、フォルテや正雀市民ルームで、市民サービスコーナー跡があると思うんです。あそこって、廃止後手つかず状態でずっと置いてあるように私は思ってます。それはちょっと問題じゃないかなというふうに思ってます。ですから、今後それをどう扱うかということと、あと管理費が発生してないかどうかが気になるので、そこで最後お答えください。お願いします。

質問7です。

26ページ、市民活動支援事業において、市民公益活動補助金の平成30年度の実績ということで、発展事業コースが4団体で、人材育成事業コースが1団体とかいうお答えでしたね。ありがとうございます。

市民公益活動費は、やっぱりNPO、自治会、あるいは企業がさまざまな担い手として幅広く活動してるかと思えます。昨年も、NPO法人も人数が横ばいになっているという話もございましたので、よりよい市民生活の実現に向けて、ぜひ協働を進めていただきますように、これも要望としておきます。

それと質問9、68ページの斎場管理事業についてということで、残骨灰の処理についてということで、流れと許可のことですね。法律が何やというのを聞き漏らして

たかかもしれません。墓地埋葬法という理解でいいんですかね。そういうふうに理解しました。

ほんで、いろいろと許可あるもの、ないものも聞きましたけど、これも最後に確認の意味で、もう一つだけ聞かせてください。

2月8日の新聞報道に、実は、自治体の2割が売却益によって収入を得ているというふうに書いてあったんです。本市は多分そういうことはないと思うんですけど、確認の意味で、そういうことを検討されたことがあるのかということだけ、最後お聞かせください。お願いします。

それと質問10、68ページ、葬儀会館管理運営事業というところの空調設備の更新工事と、あと土地借上料についてということで、一つは、ESCO事業の検討はしてないということですね。向こう10年見通すことができないというご答弁でした。

これですね、工事の監理委託料も含めると、やっぱり1億2,000万円という非常に大きな投資になりますんで、ESCO事業というところが10年見込めないということであったとしても、やはり、しっかりとこれから設計するに当たって、検討していったほしいと思いますんで、ぜひよろしくをお願いします。これも要望としておきます。

それと、あと土地の借り上げのところていきますと、少し前になるかもしれませんが、葬儀会館裏の駐車場に通じる横の道路ですね。あれも舗装されて、裏のメインのところの駐車場に行くようになっていきます。前もこれ言ったかもしれませんが、その裏の今メインになっているところは砂利なんですよね。女性の方はヒールが傷むとか、あと高齢者の方がつまずくとか、

雨の日ぐちゃぐちゃやとか、僕いろんな要望とか苦情をよく聞くんです。

最後に、あそこ僕は舗装すべきやとは思いますが、そここの辺の考え方や、そのこの駐車場の全体構想をどうしていくのか。先ほど、借り上げのところはまだ借りると言っていましたけど、その裏のところの構想ってどうするのかということをお聞かせください。

質問11、26ページの文化ホール管理事業について、修繕箇所と休館のことをお聞かせいただきました。

ちょっと言い方悪いですけど、修繕をちょこちょこやっちゃうと、市民が使えない期間がふえてしまうので、できるだけ同時並行的にやるほうがいいかと思えますし、また古い設備は持ち出しする意味でも、整備より更新とか、いろいろ工夫しながらやっていただければなというふうに考えております。これ要望としておきます。

質問12、42ページのスポーツ教室振興事業において、市民への変更点ということで、制限が緩和されるというふうにお聞きしました。

スポーツは代表質問でも取り上げまして、いろんな可能性がございますので、本当に市民の方が気軽に参加できるように、いろいろと工夫していただきまして、引き続き取り組んでいただきますように要望しておきます。

質問13、42ページ、摂津ふれあいマラソン大会事業について、平成30年度の振りかえりと、平成31年度への反映ということでお聞かせいただきました。ちょっと耳の痛い話かもしれませんが、小学校2年生の2キロコースの誘導ミス等々あったかと思えます。先ほど、市民課の残骨灰処理のチェックという話もしました

けど、やっぱりボランティアの方々の協力は不可欠やと思うんですけど、一方で、やっぱり役所側でのチェックをできる体制を整えなあかんと思います。恐らく、もう大丈夫だと思うんですけど、やっぱりせつかくですんで、市民の方々が楽しめるという視点と、例えば、先ほどの下り坂のこと言いましたけど、安全も含めて、いま一度検証していただいて、取り組んでいただきますように、これも要望としておきます。

質問14、42ページ、体育施設維持管理事業ということで、青少年運動広場の改修期間を聞きました。

6か月ということで、ある程度いたし方ないと思うんですけども、やはり利用者への影響というのは気になりますんで、極力期間を短くしていただくとか、あるいは、これも工事中の安全確保をしっかりと努めていただきますように、これも要望しておきます。

質問15、42ページの温水プール管理事業というところで、委託業者のところの話をお聞きしました。

実は、先ほど昼休みにもう一回連絡して聞いたんです。ジュニアコースじゃなくて、フリッパーズのコーチが全員かわるという話でした。私ちょっと記憶違いかもしれませんが、やっぱり指定管理になったときに、指導者も何か一回契約して、そのままいって、途中で入れかわるみたいに僕は聞いた記憶があったので、改めて聞かせてはもらったんですけども、そういうことです。

だから、もう指定管理でいたし方ないと思うんですけど、一方で、やっぱり市民目線に立って、そういった引き継ぎのところもケアするなり、あるいは指導者が本当に変わるんか、変わらへんのかということ

も含めて、僕が思うには、指定管理者を決定するときに、そういったところも視野に入れてやっていただきたいなというふうに思いますんで、ぜひお願いします。要望とします。

それと質問16、78ページの中小企業育成事業についてのところで、摂津優品（せつつすぐれもん）の認定制度の展開ということでお聞かせいただきました。ありがとうございます。

これは、もう本当にどんどんどん、摂津には摂津優品（せつつすぐれもん）が輩出されるようにしていただきたいですし、前から言っていますように、そういった事業所を協働で育てるという視点に立って、本当に摂津ブランドを高めていただきますように、これも要望しておきます。

質問17、78ページの商工業活性化対策補助事業についてです。

お聞かせいただきましたけど、空き店舗もふえておりますし、先ほど言ったチャレンジショップみたいなところもやられると思いますけど、やはりいろんな角度を変えるなり、空き店舗を、例えば、別の目的で利用するなど、ぜひいろんな角度から活性化に向けて努力していただきますように、これも要望しておきます。ちょっとしんどいかもしれませんが、頑張ってください。お願いします。

それと質問19、78ページのスクラッチカード発行事業というところで、参加店舗数と今後の工夫点を聞かせてもらいまして、210店舗近く参加されてるところです。ありがとうございます。

これからもどんどん参加店舗をふやしていただきたいと思いますし、やはり先ほどいろんな市民の意見があると言ったけど、市民の方にうまく還元するとい

うことと、リピートじゃないですけど、もう一回行って、お金落としてというのをうまくスパイラルを回るように、ぜひ工夫いただきたいですし、盛り上げていってほしいなと思います。これも要望しておきます。

それと質問20、44ページ、地域福祉計画推進事業というところで、社協へのアプローチについてお伺いしました。

やっぱり、ぜひ地元の人を巻き込んで、地区福祉委員とか一緒になって、やっぱり地域福祉活動計画をですね、つくってほしいと思いますので、ぜひよろしくお願ひします。

これも、これで質問を終わります。

それと質問22、66ページのまちごとフィットネスヘルシータウン事業ということで、健幸マイレージの事業の参加状況と工夫点とか取り組み聞かせていただきました。

これ本当は、いろいろ広報とかPR動画やられてると思いますけど、一般質問に挙げましたように、やっぱりインセンティブ拡充というところも、なかなか難しいとは思いますが、それも一つの手やと思います。やっぱり無関心層の方とかにきっかけを与えないと、やっぱりなかなか伸び悩むというところもありますので、ぜひ努力いただきたいと思います。

また、これちょっと話変わるんですけど、前回の委員会の際に、この市民の健康づくり、健康寿命延伸という観点から、副市長より、公園への新たな健康器具の設置みたいな話をお聞きしたと思います。そのときに、市民の需要から費用対効果とか、設置場所の問題を庁内で連携とってしっかりと対応していきたいというご答弁がございました。あれから半年ぐらいたつんですかね。最後にちょっと今後の方向性だけ、

副市長になるんですかね、考えをお聞かせいただければと思います。

質問24です。

48ページ、ひとり暮らし高齢者等安全対策事業において、利用者減少の理由と、それをどう捉えてるかということをお聞きしました。

やはり、聞いてますと、条件として、重篤な疾患を持つ患者に限定してるというところが、やっぱり大きな減少の理由になってるのかなと思います。高齢者になればなるほど、そういう重篤な疾患を持ってなくても、やっぱり突然倒れてしまうリスクもやっぱりありますので、安心を買う意味でも、やはり多く利用できるように、ぜひ条件の緩和をしていただければなというふうに考えています。

また、高齢者の方でも、最近携帯電話をお持ちの方多いですので、ちょっと費用がかさむかもしれませんが、そういったところも利用者拡大になると思いますので、ぜひご検討ください。

きょう、残り時間ないので言いませんけど、愛知県の西条市で、AIロボットというのも紹介されてまして、非常にいい取り組みやなと思ってました。そういったところも含めて、いろんな先進事例あると思いますので、ぜひ参考にして取り組んでください。これも、以上で要望としておきます。

それと質問25、50ページの福祉タクシー事業というところで、対象者拡大の考え方お聞かせいただきました。

単独事業であるということで、拡大困難というふうにおっしゃってました。ご答弁にもありましたけど、やっぱり精神障害者保健福祉手帳1級の方が対象となっている市も、私も調べましたけど、あります。いろんな市があると思いますけども、やは

り市民ニーズをしっかりと捉えて、身体だけじゃなくて、心身障害者の方々の外出支援にも努めていただきたいなというふうに考えています。これも要望としておきます。

66ページ、質問27です。

環境測定・調査等事業についてのところでは、既に、人工衛星を活用した傾向把握に努められるということ、プラス今は地盤沈下がないということですね。この点は本当に評価できるものやと思います。

私のほうには、やっぱり一次スクリーニングとして、人工衛星を使った観測で連続的に監視して、それでアラーム鳴るなり、そういったところで、同時並行的に、年に1回しっかりと測量して、正確に把握するというような使い分けがいいんじゃないかなというふうに思います。そうすることによって、タイムリーに対応できていくと思いますので、これもぜひ引き続きよろしくをお願いします。要望としておきます。

質問29、68ページです。

温暖化対策事業について、LED照明事前調査結果の取り扱いということでお聞かせいただきました。

これは、各施設所管でLED化の導入を進めるというところで、引き継ぐことになろうかと思っておりますので、より効果的な手段といたしますか、しっかり選択いただいて、調査結果を反映させていただきますように、これも要望としておきます。

質問30、70ページのリサイクルプラザ整備事業というところで、設備の状況をお聞かせいただきました。

空き缶プレス機ですか、老朽化が進んでいるというところで、前、僕の記憶では、ペットボトル圧縮梱包機は、トラブルが多発してから対応しておりますので、そういう面からいくと、イニシャルコストとラン

ニングコストですね、しっかりとらみながら、有利な選択をぜひしていただきますように、これも要望としておきます。

質問31番です。

70ページのごみ収集処理事業について、災害時のごみの対応についてお聞かせいただきました。

これもご答弁あったように、災害の規模とか、被害状況によって対応は異なるかと思えますけども、やはり、あらかじめケースを想定して、直営と委託の役割をどうすんねんとか、対応をある程度決めておくほうがスムーズにいくと思いますので、災害時の混乱を招かないように、ぜひよろしくをお願いします。これも要望としておきます。

質問32です。

72ページの廃棄物広域処理の推進事業ですね。茨木市との所掌の考え方、範囲とスケジュールも補足説明いただきました。おおむね3分の1が本市負担するということですね。

これも代表質問のときにも触れましたけど、いろいろ課題もあろうかと思えますけども、着実に一個一個課題を解決していただきたいということと、やはり、本市と茨木市というところで、立場的にちょっと厳しいところもあろうかと思えますけど、ぜひ将来的な長い目線で見ても、茨木市とウインウインのよい関係を構築していただきたいと思えますので、ぜひよろしくをお願いします。

質問33、72ページです。

ごみ処理設備維持管理事業というところで、広域処理開始までの修繕の考え方というところでいきますと、やはり安定稼働というのが前提になると思えますけど、一方で、やっぱり広域処理までを逆算して、修繕の計画も既にやっているとしますけ

ど、見直すことによって、修繕料が抑制できると思います。

また、先ほどもありましたけど、定期交換で単純に交換するというだけでなく、やっぱり状態も見ながら、この寿命予測と状態と、そういういろんな目で見て、ぜひコストミニマムで対応いただければと考えます。これも要望としておきます。

3回目は以上です。

○森西正委員長 それでは、丹羽課長。

○丹羽自治振興課長 自治振興課のほうにかかわります3回目のご質問にご答弁させていただきます。

まず、質問番号5番、防犯カメラのリースに関しまして、平成26年度以降に設置した防犯カメラの更新について、お答えさせていただきます。

次年度から、リース契約を実施してまいります、経費削減の効果については、答弁させていただいたとおりでございます。

本リース契約には、保守点検も含まれますことから、契約後、保守点検等の実施状況も確認させていただきまして、平成26年度以降に設置した防犯カメラの更新方法については検討してまいりたいというふうに考えております。

続きまして、質問番号6番、フォルテ及び正雀市民ルームにございます旧市民サービスコーナーについてのご質問にお答えいたします。

管理費等につきましては、発生しておりません。今後の活用につきましては、市全体で議論が必要でございます。また、指定管理者からの有効利用に関する提案などもございますことから、より効果的な活用方法を検討し、対応してまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○森西正委員長 川本課長。

○川本市民課長 それでは、質問番号9番の斎場の残骨灰についてでございます。

新聞報道でもありますように、他市におきましては、1円での落札があったりありますとか、また逆に、業者に売却して、市のほうで利益を得るといような方法を採用しているということは、新聞報道等で把握はしております。

本市におきましては、1円というようなことはございませんけれども、比較的安価な金額で委託しているところでございます。

これにつきましては、基本的には指定管理者の業務範囲になりますので、指定管理者の意見も聞く必要があるとは思いますが、市市担当といたしましては、市民感情を考えますと、ご遺骨を業者に売却して、市が利益を得るといのは、市民感情からいいますと、余り望ましくないのかなというふうには考えております。

続きまして、質問番号10番の葬儀会館の駐車場のことでございます。

先ほども申しましたように、メモリアルホールにつきましては、第5次行革でも挙げてましたとおり、メモリアルホールの民間譲渡を含めたあり方の検討を行ってまいりました。これまでは、こういったこともございまして、駐車場につきましては、その方向性が決まるまでは、できる限り現状のままですとっておりました。しかしながら、長年検討しておるんですけれども、やはりなかなか難しいというのが現状でありますので、今後につきましては、市民のいろんなご意見も踏まえながら、駐車場のあり方を検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○森西正委員長 副市長。

○奥村副市長 それでは、健康遊具のさらなる設置ということで、ご答弁申し上げたいと思います。

よく少子高齢化というのをまくら言葉でよく使うんですけども、これはもちろん財政的な問題も当然ありましようし、それから施設のあり方、これもやはり念頭に置かなければならないのかなというふうに思っております。

従前でしたら、公園でいわゆる子どもが遊ぶというのが、公園の大事な使命の一つだったと思うんですが、今や高齢者の人の利用も多くなっております。そういう部分では、子ども対象の遊具から健康遊具、これは非常に時代になつた効果的な施設活用かなというふうに思っております。

従前から、それぞれ健康遊具の部分につきましては、平成30年度までに100基を設置目標としておりました。これは目標達成しております。それから、あわせてウォーキングコース、この10コースも平成30年度で完成いたしました。そういう意味からもいたしましても、それなりに高齢者の対象の健康遊具については、ある程度は充足はできてきたのではないかなというふうに思っております。

ただ、これ以上の設置につきましては、やはり公園のことですので、大人が利用する健康遊具、それから子どもが付近で遊ぶ、こういうことを考えますと、やはり子どもの安全安心も考えていかなければならないというふうに思っております。そういう意味では、福祉部門と、それから水みどり課、ここのところはしっかりと協議をしながら、今後の健康遊具の増設の部分については、慎重に検討していきたいというふうに思っております。

以上です。

○森西正委員長 光好委員。

○光好博幸委員 ありがとうございます。もう最後、要望としておきます。

まず、質問5です。

22ページの防犯カメラ設置事業というところで、平成26年度以降の防犯カメラの取り扱いをお聞かせいただきました。

これから財政効果等ともならみながらやっていただけるということで理解いたしました。

防犯カメラは、昨年の決算審査のときも触れてますけども、やっぱりより効果的に、効率的に設置箇所への移設や増設についても検討するというふうに前向きなご答弁もいただいておりますので、ぜひ犯罪抑制を図る意味でも、コスト面と、あとそういったところの増設というところをしっかりとやっていただきたいなと思います。要望です。

あと、質問6です。

24ページの市民ルームフォルテ管理事業及び正雀市民ルーム管理事業のところの市民サービスコーナー跡の話ですね、お聞かせいただきました。

管理費が発生してないということで、ちょっと安心しましたけど、ぜひやっぱりそのまま放置するんじゃなくて、今検討するとおっしゃっていただきましたけど、有効活用するよう早く手を打っていただきたいなと思います。これも要望です。

質問9です。

68ページの斎場管理というところで、処理についてお話しいただきました。

おっしゃるとおり、私も売却というのは心情的なものから批判が強いというのを私もすべきでは本当はないと思っております。本当に確認の意味で聞かせていただきま

した。ただやっぱり残骨灰というのは、有価金属のみ取り出して、ほかは廃棄するところの報道もされてますんで、先ほどの質問もありましたけど、しっかりと指定管理者へ報告書が出てるということでもございましたけど、しっかりチェックして、管理していただいて、適正に処理していただきますように、これもちょっと強く要望しておきます。お願いします。

最後、質問10です。

68ページの葬儀会館の管理運営事業というところで、駐車場の全体構想というところをお聞かせいただきました。舗装は難しいようなご答弁に聞こえましたが、ぜひやっぱり前向きにといいいますか、舗装も含めてやっていただきたいなというふうに要望します。

先ほど、空調の話も触れさせていただきましたし、また、土地借上料もお話させていただきましたと思います。それらのところで、やり方によっては費用も浮いてくると思うんです。そういったところもトータル的に考えた上で、例えば、葬儀会館裏をメインにするのであれば、立体駐車場にして、もうその1か所でやっちゃうとか、いろんなやり方があるかと思うんで、ぜひ構想をしっかりと練っていただきまして、市民の安全安心も含めて具現化していただきますように要望しておきます。

最後、22番、66ページのまちごとフィットネスヘルシータウン事業の健康器具云々の取り組みということで、副市長よりご答弁いただきました。

なかなか子どものこともあったりとか、あるいは、そういういろんな諸事情によって、なかなかすぐに取りつけるという話ではなかったかと思います。また、ここは民生常任委員会ですけど、やっぱり水みどり

課との所管をまたいだ取り組みが必要やと思いますんで、これからは私はこだわって、これは提言してまいりたいとは思いますが、ぜひ部局を横断的に検討いただいて、やっぱり健康づくりというところをやっぱりオール摂津で取り組んでいただきますように、最後に要望しておきます。

以上で終わります。ありがとうございました。

○森西正委員長 ほかにございますか。

中川委員。

○中川嘉彦委員 それでは、質問を順次させていただきますと思います。

まず、通し番号で一つ一つ質問を17個ですけれども、ご用意しています。各課ごとにまず質問をさせていただきますと思います。

まず、環境センターで1問、質問番号1、予算概要72ページ、環境センターごみ焼却施設維持管理事業、緑地管理委託料は、環境センター周囲の緑地を維持していくための予算だと思いますが、前年度予算額323万7,000円に比べ、約3倍の1,009万6,000円に増額されています。その理由をまずお教え願います。

次に、質問番号2、環境業務課、予算概要72ページ、ごみ収集処理事業、水銀使用製品廃棄物処理委託料78万5,000円。先ほどもこれは光好委員もちらっと触れられましたけれども、去年の10月より蛍光管や水銀体温計など、水銀使用製品一般廃棄物の分別収集が始まりましたが、現在の収集状況はどうなっているのかお教え願います。

次、環境政策課、質問番号3、予算概要68ページ、環境美化事業222万8,000円について。市政運営の基本方針において、環境美化推進地区を新たに指定する

と市長はおっしゃられました。地区やスケジュールについては、どのように想定しているのかお教え願います。

次、高齢介護課、質問番号4、予算概要46ページ、OA機器管理事業32万7,000円。高齢福祉システム保守作業委託料が昨年度に比べ大幅に減っています。システム内容等減額理由をお教え願います。

高齢介護課、二つ目、質問番号5、予算概要48、高齢者日常生活支援事業の高齢者移送サービス委託料979万6,000円について。サービス内容と現状をお教え願います。

高齢介護課、質問番号6、予算概要48ページ、同じく高齢者日常生活支援事業の訪問理美容サービス補助金19万6,000円について。サービスの内容と現状をお教え願います。

次、生活支援課、質問番号7、予算概要62ページ、レセプト点検事業304万8,000円。国保年金課は、平成31年度から、せつつ服薬適正化プロジェクトを実施し、国保加入者に対する多剤服薬による健康被害の防止に取り組みをされているとのことですが、生活保護を受給している方に対しても同様に取り組みは行われているのかお教え願います。

次、障害福祉課、質問番号8、予算概要52ページ、市立みきの路運営事業。市立みきの路改修工事実施設計委託料として1,020万8,000円が計上されていますが、内容をお教え願います。

質問番号9番、同じ障害福祉課、予算概要54ページ、チャレンジドオフィス事業、一般職非常勤職員賃金2,166万8,000円、チャレンジドオフィス事業、一般職非常勤職員賃金が683万2,000円の増になっています。内容をお教え願いま

す。

次、質問番号10、自治振興課、予算概要26ページ、正雀市民ルーム管理事業、管理業務委託料、指定管理料1,310万円について。先ほど、これも正雀市民ルームの光好委員への答弁の中で稼働率とか出ていましたけれども、前の段階の正雀市民ルームは平成26年から平成30年度末までの5年間の指定管理期間を満了し、新たに平成31年度から平成36年度末までの5年間、引き続き株式会社ビケンテクノが指定管理者と選定されました。これまでの評価と選定理由についてお教え願います。

次、自治振興課、質問番号11、予算概要24ページ、市政モニター事務事業22万4,000円。市政モニター事務事業のこれまでの経過と、平成30年度より新しく、より幅広い層の市民が参加しやすいよう見直しを行われたと思いますが、第1回市政モニターアンケートの調査結果についてお教え願います。

次、文化スポーツ課、質問番号12、予算概要26ページ、全国大会等参加補助事業46万円について。平成30年度予算では、体育振興費に全国大会参加補助事業の予算計上がありましたが、平成31年度ではそれがなくなって、文化振興費で予算計上されています。そのことについてお教え願います。

次、同じく文化スポーツ課、質問番号13、予算概要42ページ、体育施設維持管理事業5億8,403万3,000円のうち、旧味舌小学校跡地体育館建設実施設計委託料3,685万円が予算計上されています。建設予定の体育館は、どの程度の規模や機能、建設費を想定しているのかお教え願います。

次、産業振興課、4問です。質問番号14、予算概要74ページ、農業地域力創造推進事業の、摂津市地域農業再生協議会補助金29万円について。摂津市地域農業再生協議会は、どのような目的で設置されている協議会なのか、また、どのようなメンバー構成なのかお教え願います。

同じく産業振興課、質問番号15、予算概要78ページ。同じく産業振興課の一般事務事業の観光あるき実行委員会負担金20万円についてです。2020年に東京オリンピック、2025年には大阪・関西万博が開催されます。観光は今まで以上に重要になっていきますが、以前も質問しましたが、改めてどのような内容の事業で、実績はどうなんでしょうか、お教え願います。

質問番号16、予算概要76ページ、市民農園設置事業の農園管理指導委託料170万7,000円について。平成30年度に新たな市民農園の形態として、福祉農園、水稻体験農園及び小学校低学年児童の農業体験学習農園を積極的に展開されてきたと思います。平成31年度は、平成30年の予算に対して、さらに11万7,000円、159万円から170万7,000円へ増となっていますが、それはどのようなことを想定しているのかお教え願います。

最後に、質問番号17、予算概要78ページ、中小企業育成事業、商工業経営指導委託料として100万1,000円が計上されております。平成30年と比べますと、11万3,000円増額となっておりますが、取り組み内容と増額理由についてお教え願います。

以上で1回目の質問を終わります。

○森西正委員長 それでは、答弁願います。

ます。

鈴木部参事。

○鈴木環境部参事 それでは、質問番号1番、予算概要72ページ、環境センターごみ処理施設維持管理事業、緑地管理委託料の増額についてご答弁申し上げます。

緑地管理委託料は、環境センター周辺の緑地帯及びモノレール摂津駅までの大正川左岸の緑地を管理し、年2回の草刈り、低木の剪定、高木の枝はらいなどを実施し近隣環境の維持を行う事業でございます。

今回増額の予算は、昨年9月の台風21号の強風により、直径40センチ以上の大木が倒れ幹が折れるなど、37本の樹木に被害が発生いたしましたことから、その倒木などの撤去費用として、臨時に689万6,000円を計上いたしましたことから、大幅な増額になったものでございます。

以上でございます。

○森西正委員長 三浦課長。

○三浦環境業務課長 それでは、環境業務課に係りますご質問にお答えいたします。

質問番号2番、ごみ収集処理事業に係ります水銀使用製品廃棄物処理委託料につきましてでございます。

昨年10月より、市域全域におきまして、蛍光灯、HIDランプ、水銀体温計、水銀血圧計など水銀使用製品一般廃棄物として分別収集を開始いたしました。

収集状況でございますが、10月から12月の3か月間で、約4,900点収集し、そのうち97%が蛍光灯でございました。また、水銀体温計も95本収集しております。これは、平成29年10月から半年行いました予備調査の結果と比べまして、約65%程度となっております。その結果から、いまだ燃やせないごみとして排出されるケースが少なくないと考えて

おります。

以上でございます。

○森西正委員長 飯野課長。

○飯野環境政策課長 質問番号3番、環境美化推進地区に係るご質問にお答えいたします。

環境美化推進地区につきましては、市民から要望や苦情が多く、地区指定によるPR効果の高い地域を選定しております。

現在、新たな指定地区として、阪急正雀駅周辺について、夏ごろの指定を目標に検討を進めております。

以上でございます。

○森西正委員長 荒井課長。

○荒井高齢介護課長 高齢介護課に係りますご質問にお答えいたします。

まず1点目、質問番号4です。高齢福祉システムの内容と委託料の減額理由についてでございます。

このシステムでは、高齢福祉サービスの管理や通知書等関係書類の作成、日々の相談業務に関する情報の入力などを行っております。ひとり暮らしの登録や配食サービス、緊急通報装置、移送サービスの利用者などの情報を一覧として把握できるようになっております。

平成31年度に減額となっておりますのは、平成30年度に元号改正とシステムのバージョンアップに伴う更新の予算を計上していたことから、一時的に増額となっていたためでございます。

質問番号5番、高齢者移送サービスの内容と現状についてでございます。

65歳以上で、介護保険の要支援1以上の車椅子を利用する方が通院等で外出する際に、月4回を上限として福祉車両で移送する無料のサービスでございます。

登録者数は、各年度末で、平成27年度

が472人、平成28年度が586人、平成29年度が489人であり、延べ利用回数は、平成27年度が1,406回、平成28年度が1,350回、平成29年度は1,277回となっております。

続きまして、質問番号6番、訪問理美容サービスの内容と現状についてでございます。

このサービスは、平成30年度に開始したもので、自力または介助により理容店・美容店を利用することが困難な介護を必要とする高齢者の自宅を理容師または美容師が訪問する際の出張費について、年4回を上限に、1回当たり2,000円を助成するものでございます。

対象者は、在宅で生活している65歳以上の要介護3・4・5の方となっております。

平成30年度の利用状況は、3月4日現在、申請者が10人で、うち利用者は4人でございました。

○森西正委員長 松木課長代理。

○松木生活支援課長代理 それでは、生活支援課に係りますご質問、質問番号7番、予算概要62ページ、レセプト点検事業についてお答えさせていただきます。

生活支援課におきましては、レセプト点検事業者による診療報酬明細書の点検業務委託に加えまして、平成29年度からレセプト点検嘱託員を非常勤職員として配置し、多剤投薬、特に向精神薬の重複処方が行われていないかどうかのチェック、また、頻回受診や重複受診、自立支援医療等の他法他施策活用の可否について、従前より多角的視点から、被保護者個別の健康管理支援と医療扶助の適正化実施に取り組んでいるところでございます。

○森西正委員長 森川課長。

○森川障害福祉課長 障害福祉課に係ります2点のご質問にお答えさせていただきます。

まず1点目、質問番号8番、予算概要52ページ、市立みきの路改修工事実施設計委託料の内容でございますが、市立みきの路は、平成14年建築で、17年が経過しております。施設全体の経年劣化が進んでおりますが、特に給湯設備と空調設備において、たびたびふぐあいが発生しており、早急な改修が必要となっております。

平成31年度は、この給湯設備、空調設備改修に向けての設計を行うための予算を計上しているものであります。

次に、質問番号9番、予算概要54ページ、チャレンジドオフィス事業、一般職非常勤職員賃金の増額の内容につきましてご答弁いたします。

現在、チャレンジドオフィスにおいて従事する職員といたしましては、支援員が2名、知的障害のある作業員が5名、身体障害のある作業員が2名であります。障害者の就労を支援するため、このチャレンジドオフィスの拡大を図りたいと考えておまして、平成31年度では、支援員が3名、知的障害者または精神障害者の作業員が7名、身体障害者の作業員が2名を予定しておりますことから、人員の拡大に係ります賃金の増額を計上しております。

○森西正委員長 丹羽課長。

○丹羽自治振興課長 自治振興課に係ります2点のご質問にお答えさせていただきます。

まず、質問番号10番、予算概要26ページ、正雀市民ルーム管理事業についてお答えいたします。

平成26年4月から指定管理者は、今回指定管理者に選定されました株式会社ビ

ケンテクノが運営管理を行っていただいております。

これまで施設管理運営は適切に行われ、利用者や近隣自治会とも円滑な関係を構築し、利用者とのトラブルや苦情もなく、また、稼働率の向上に向けホームページの開設やさまざまなジャンルの自主事業を展開、さらに同社が他の施設管理で培った経験を生かし、施設管理運営を行っていただいております、高く評価しているところでございます。

平成31年度以降5年間の指定管理業務につきましても、引き続き応募いただき、職員が構成いたします指定管理者選定幹事会で書類審査、有識者や市部長級で構成されます指定管理者選定委員会で書類審査、プレゼンテーションから適性、運営体制、管理計画、自主事業、財政状況などを審査させていただき、選定されております。

続きまして、質問番号11番、予算概要24ページ、市政モニター事務事業、第1回市政モニターアンケートの調査結果等についてお答えいたします。

市政モニター事務事業は、市民の皆様から市政に関する意見や要望をお聞きし、行政の施策の参考とさせていただくことを目的に実施している事業でございます。

第1回市政モニターアンケート調査は、平成30年8月に実施いたしました。調査内容は、1、地域の魅力について、2、自治会、町会について、3、行政に期待する取り組みについての3項目で、アンケートの回収率は26.6%となっております。

調査結果について、簡略に申し上げますと、1番、地域の魅力についての項目につきましては、今住んでいる地域にこのまま住み続けたいと思われる方が、回答者の全体の66.9%と高い数値となっております。

り、交通の利便性、買い物の利便性の高さが住み続けたい理由として大きな割合を占めておりました。

また、お住まいの地域に多くの方が訪れたいと思ってもらえるようにするために、市はどのような取り組みが必要だと思いますか、という設問に関しましては、まちの美化、景観整備、魅力的な商業施設、レジャー施設の充実等の貴重なご意見をいただいたところでございます。

2項目の自治会、町会について、3項目、行政に期待する取り組みについての項目に関しましては、いずれも期待することとして、防犯、防災活動が高い数値となっており、昨年ございました地震や台風災害に対する防災意識の高さがアンケートの結果にあらわれておると分析しております。

また、アンケートの結果の詳細につきましては、市のホームページでも公開させていただいているところでございます。

以上でございます。

○森西正委員長 妹尾課長。

○妹尾文化スポーツ課長 それでは、文化スポーツ課に係ります2点のご質問にお答えいたします。

まず、質問番号12番、予算概要26ページ、全国大会等参加補助事業について、平成30年度では体育振興費に全国大会参加補助事業に予算計上があったが、平成31年度では文化振興費で計上している理由ということのお問いでございました。

平成30年度につきましては、国、地方公共団体または社会体育団体が主催、共催する全国大会に、大阪府の代表として参加される個人や団体を補助の対象としておりました。

ただ、平成31年度からは、この社会体育団体だけでなく、文化スポーツ団体が主

催または共催する全国大会、国際大会、その他の大会、コンクールも対象とすることと考えております。スポーツを含む文化全体を対象を広げましたので、文化振興費で予算計上をいたしましたものでございます。

また、予算の補助金の名称につきましても、平成30年度では、全国大会出場補助金としておりましたが、平成31年度では、全国大会等出場激励金としております。

続きまして、質問番号13番、予算概要42ページ、旧味舌小学校跡地体育館建設について、その規模と機能と、建設の時期の予定ということのお問いでございました。

まず、体育館の規模でございますが、市内にありますほかの市立3体育館と同規模の想定ということを考えております。

また、機能につきましては、バスケットボールやバレーボールなどの球技を行える第1体育室、武道やダンスを行うことができる第2体育室、あと避難所としての機能や現在計画敷地でございます消防分署の第3分団についても、同敷地内で建てかえるため、屯所機能などを検討しております。

建設時期につきましては、平成31年度実施設計を行いまして、翌年度に工事を着工いたしまして、その次の年度に竣工を目指していきたいと考えております。

以上でございます。

○森西正委員長 辻局長。

○辻農業委員会事務局長 それでは、産業振興課に係りますご質問のうち、農業施策に関するご質問に私のほうからお答えいたします。

質問番号14番、予算概要74ページ、まず、地域農業再生協議会のご質問でございます。その設置目的とメンバー構成につ

いてお答えいたします。

農家の所得を安定させるための国事業といたしまして、経営所得安定対策事業というのがございます。例えば水田を活用いたしまして、転作作物、ほかのものを栽培した場合などに助成を行いますことで、農家の経営所得の安定を図る事業を行っております。そういった事業を円滑に実施していくため、行政と農業者団体等との連携体制の構築などを行うことを主な目的といたしまして、設置されている団体でございます。

協議会は、摂津市、それからJ A北大阪、農業共済、神安土地改良区、実行組合長などから13名の委員で構成されております。

続きまして、質問番号16番、予算概要76ページ、市民農園設置事業の市民農園管理指導委託料に関するご質問にお答えいたします。

増額の理由ということでございます。こちらは、平成30年度に新たな市民農園の形態として、福祉農園、それから水稻の体験農園、小学校低学年児童の農業体験学習農園、3種類を展開してまいりました。

そのうち小学校低学年児童の農業体験学習農園につきましては、J A北大阪と連携いたしまして、市内の小学校10校中4校で実施いたしました。さらに拡大して実施していくことを想定しております。現段階では、対象となる小学校及び農地は未定となっております。

以上です。

○森西正委員長 吉田部参事。

○吉田市民生活部参事 それでは、産業振興課商工労政に係ります2点のご質問についてお答えさせていただきます。

質問番号15番、予算概要78ページ、

一般事務事業の観光あるき実行委員会負担金の事業内容と実績についてでございますが、平成24年度に発足した阪急京都線沿線観光あるき実行委員会の市の負担金でございます。実行委員会は阪急電鉄と沿線の自治体9市町で構成しております。

各市内の観光地を歩いて回る観光あるきの共通の観光イベントとして実施しております。阪急梅田駅で各市町一堂に集まる観光あるきのPR活動も実施しております。

負担金の主な用途でございますが、観光あるきのPRとして、阪急電鉄でのつり広告やポスター掲載、阪急京都線沿線自治体9市町の観光あるきのコースが詳細に記載された観光PRパンフレットの発行などがございます。

本市では、本年4月3日と17日に無料ガイドツアーの実施を予定しております。4月3日は新幹線公園コース、4月17日は千里丘新町コースの実施を予定しております。

参加者に市内の観光地をガイドとともに散策いただき、市内の見どころをPRするコース設定となっており、定員は各コース20名でございます。

平成30年度の実績でございますが、新幹線コースは25名、千里丘新町コースは18名でございます。市外から多くの方が参加した実績がございます。

続きまして、質問番号17番、予算概要は78ページ、商工業経営指導委託料の取り組みと増額理由についてお答えさせていただきます。

商工業経営指導委託料は、中小企業経営改善支援コンサルタント派遣事業でございます。事業内容といたしましては、市

内の事業者に対して、経営改善のためのコンサルタントを派遣する事業でございます。

本年度から国が実施している中小企業を支援する最大1,000万円が補助されるものづくり補助金など、生産性向上のための設備導入などに活用できる補助金の申請支援に積極的にコンサルタント派遣事業を活用し、一定成果も出ております。

本年度はより積極的に活用するため、商工会が今月18日に開催する補助金申請攻略セミナーにて中小企業経営改善支援コンサルタント派遣事業のPRを行う予定でございます。

このように積極的に活用を促すため予算を増額しております。

以上でございます。

○森西正委員長 中川委員。

○中川嘉彦委員 ありがとうございます。

それでは、2回目の質問をさせていただきます。

まず、質問番号1番、緑地管理委託料についてですが、緑地管理委託料の増額は、台風21号の倒木の撤去費用ということで予算計上されているということは理解しました。

私もあの当時、台風の直後、すごい大きな木が倒れているのを、これはどうするのかな、どう処理するのかなって思っていたんですけども。

ただ、その予算額が大きいことから、撤去工事をどういうふうに進めていくのか、具体的な内容をまず2回目お教え願います。

質問番号2番、水銀使用製品廃棄物処理委託料についてですが、蛍光灯には微量ではありますが、水銀が含まれ、ごみとして排出された蛍光灯が破砕処理される際、そ

の水銀が大気中に放出されることが懸念されております。そのため、全国的にも蛍光灯の分別収集が推進されてきています。我が国では水俣病という有機水銀による悲惨な公害を経験してきており、社会的にも水銀規制リーダーシップをとらなければいけないという立場にあると思います。

そのようなことを考えると、蛍光灯は適切に分別収集されるべきだと考えますが、今後、どのように取り組んでいこうとお考えなのかお教え願います。

質問番号3、環境美化事業についてですが、まちを美しくする、きれいにするということは、まちの魅力づくりにも当然つながります。しかし、美化と簡単に言いますが、やはり動かすのは人間自身、人間ですから、人間の心の問題、モラルの問題、道徳の問題に頼るところも多いと思います。一朝一夕にいかないとは思いますが、時間をかけて取り組んでいていただくことを、これは要望させていただきます。

質問番号4、高齢福祉システム保守作業委託料についてですが、これは答弁の中で、元号改正というのが出てきました。ことは本当に大きな時代の転換点です。元号が変わることによって、どうしてもトラブルというのが想定されるかもしれません。だからしっかりと準備し、備えていただくことを、これは要望とさせていただきます。

次、5番目、高齢者移送サービス委託料についてですが、これは先ほど数字をいただきました。平成27年度、472人、平成28年度、586人、平成29年度、489人、延べでもやっぱり減っています。この利用が減っている理由は何なんでしょうか、お教え願います。

質問番号6、訪問理美容サービス補助金についてですが、申請が10人と利用が4

人ですか、少ないように思うのですが、何か理由があるのでしょうか、お教え願います。

次、質問番号7、レセプト点検事業についてですが、医療扶助の適切な受診に関連して、昨年10月から生活保護を受給されている方の調剤投薬については、ジェネリック医薬品の使用が原則化されたとお聞きしましたが、本市における保護受給者のジェネリック医薬品の利用状況はどうなっているのかお教え願います。

質問番号8、市立みきの路改修工事実施設計委託料についてですが、これはもうみきの路、17年もたつんですね。いろいろなところでガタが、17年もたつと出てくることかなと思います。

給湯設備や空調設備以外にも、経年劣化でいろいろなものが傷みが進んできていると思うのですが、みきの路だけではなく、ふれあいの里の施設においても、経年劣化が進んでいると思われそうですが、改修に向けての考え方はどうなっているのでしょうか、お教え願います。

次、質問番号9、チャレンジドオフィス事業、一般職非常勤職員賃金についてですが、障害者の就労を支援するためには、チャレンジドオフィスの拡大は必要と考えます。これは拡大については先ほどの答弁の中でも、本当に考えていくというふうな話もいただきました。これについて、今後の人員体制に関して、何かお考えがあるのでしょうか、お教え願います。

次、質問番号10番、正雀市民ルーム管理事業についてですが、これまでの評価や選定については、今、ご答弁で理解しました。でも、前年度と比べ指定管理料の予算額が160万円の減額となっています。この理由と、今後5年間の債務負担行為額に

ついてお教え願います。

質問番号11、市政モニター事務事業についてですが、今回の第1回市政モニターアンケートの調査結果を踏まえて、引き続き第2回調査を実施すると聞いております。この市政モニターアンケートというのは、市民の意見を取り込む本当に大事な貴重な意見の場だと思えます。本当に貴重に活用していただきたいと思えます。

そこで、第2回を実施するに当たり、内容と今後のスケジュールをお教え願います。

次、質問番号12、全国大会等参加補助事業についてですが、対象とする大会等については理解いたしました。

今の答弁で文化スポーツ団体、その他のコンクールを対象というふうに言っていたいただきましたけれど、もっと早い段階でこういうふうになっていたら、もっと喜ばれていたんじゃないかなって思います。

全国大会等出場激励金にかわって補助額の内容などに違いがあるのかお教え願います。

質問番号13、体育施設維持管理事業についてですが、先日、この旧味舌小学校跡地体育館の建設に関する地元説明会が開催されました。私も参加させていただきました。住民からさまざまな意見が出されましたが、その市民から出た意見はどのように反映されて、どうやってフィードバックするのか、それをお教えいただければと思います。

次、質問番号14番、農業地域力創造推進事業についてですが、国の経営所得安定対策事業を実施していくための予算ということをお聞きしました。29万円ですが、その予算の使い道をお教え願います。

次、質問番号15、一般事務事業の観光

あるき実行委員会負担金についてですが、市内の観光地をPRする方法として、阪急京都線にある本市の地理的利点を生かして、少ない負担で阪急電車内でPRできることは理解いたしました。また、市外の方に本市の観光地をPRできることもわかりました。しかしながら、今後さらに市内の観光地をPRする必要があると考えますが、どのようにお考えなのかお教え願います。

次、質問番号16番、市民農園設置事業についてですが、市内の市民農園の面積は、総合計画に平成32年度の目標として掲げられています。新たな形態の市民農園を展開したことで、目標の達成に向けてどのような状況になる見込みなのかお教え願います。

これは本当に体験農園というのは、私は味舌小学校の前の田んぼで田植えを一緒に子どもたちとやらせていただいたんですけど、本当に目がきらきらとして、本当にいい取り組みだと思えます。ぜひこういう取り組みは拡大というよりは、しっかり継続してもらえればと思っています。

質問番号17、商工業経営指導委託料についてですが、中小企業の支援として、経営改善のためのコンサルタントを派遣する事業を積極的に活用することで、市内の中小企業が国の補助金を採択され経営改善されることは大変喜ばしいことであります。積極的に活用されるよう、これは要望させていただきます。

以上で2回目終わります。

○森西正委員長 それでは、答弁をお願いします。

鈴木部参事。

○鈴木環境部参事 それでは、質問番号1番、環境センター、緑地管理委託料に係り

ます2回目の質問にご答弁申し上げます。

台風21号による倒木の撤去工事の具体的な内容ということでお答えいたします。

昨年9月の被害時に、緑地帯の倒木が、道路や歩行者道路をふさぎ、通行に支障が出たものは、職員がその日のうちに撤去いたしました。また、電柱や電線に寄りかかった倒木は、関西電力により緊急伐採を受けました。現在、緑地帯内には多くの倒木がそのまま残っており、また、緊急撤去した木々の処分もあわせて行う必要があります。

一方で、環境センターでは、大木の破碎処理施設がなく、焼却できないことから、伐採、搬出、処分、整地を一括して行うための事業費を今回計上しております。

伐採や搬出には、大型クレーン、狭隘な場所では小型クレーンなどを活用し、人手も多く必要かと思込まれ、大がかりな工事になると考えております。

以上でございます。

○森西正委員長 三浦課長。

○三浦環境業務課長 それでは、環境業務課にかかわりますご質問にお答えいたします。

質問番号2番、水銀使用製品の分別収集の今後につきましてお答えいたします。

水銀使用製品一般廃棄物の分別収集を始める前に、昨年夏ごろから自治会を通し、地域で説明会を繰り返すほか、ごみの分け方・出し方のチラシを全戸配布するなど、周知に努めてまいりました。

直近では、廃棄物減量推進員の皆さんを対象とした懇談会で再度説明を行い、地域の住民の皆さんへの啓発をお願いしたところでございます。

また、ホームページのほか広報せつつ3

月号でも、蛍光灯の分別収集をPRする記事を掲載いたしました。

今後につきましては、広報誌やホームページを用いた啓発のほか、間違っただけ燃やせないごみに出されたケースでは、個別に啓発チラシを配布するなど、適正に分別して排出していただくよう、粘り強く啓発に努めてまいります。

以上でございます。

○森西正委員長 荒井課長。

○荒井高齢介護課長 高齢介護課にかかります2回目のご質問にお答えいたします。

質問番号5番、高齢者移送サービスの利用が減っている理由についてでございます。

現在、4台の車両で送迎を行っておりますが、市外の病院などへの送迎の増加により車両の回転率が低下し、結果的に希望の日時の利用が困難になっていることが考えられます。ただ、平成30年度につきましては、2月末時点で平成29年度実績を超えております。

利用料が無料ということで、このサービスのニーズは高いと考えておりますので、今後も一人でも多くの方にご利用いただけますよう、できる限り組み合わせ等の調整に努めてまいりたいと考えております。

質問番号6番、訪問理美容サービスの利用についてでございます。

このサービスに協力いただいている店舗は、理容店が7店、美容店が3店となっており、利用できる店舗が限られております。

利用者は、介護度が高いため、従来から利用していた方は、なれている理美容店のほうが都合がよく、継続して利用されているようでございます。

また、開始1年目ということで、十分に周知されていなかったことも考えられます。これにつきましては、今後、ケアマネジャー等に再度周知を図ってまいりたいと考えております。

○森西正委員長 松木課長代理。

○松木生活支援課長代理 それでは、質問番号7番、生活支援課に係ります2回目の質問にお答えさせていただきます。

被保護者のジェネリック医薬品使用状況については、ジェネリック医薬品の使用が原則化される前の平成30年1月レセプト審査分、主に平成29年12月診療分におきましては、使用率が77.4%と、国の定める目標値75%を上回っておりましたが、使用原則化後の平成31年1月レセプト審査分、主に平成30年12月診療分におきまして、使用率は85.7%となっており、使用促進が図られているところでございます。

○森西正委員長 森川課長。

○森川障害福祉課長 障害福祉課に係ります2回目のご質問にお答えさせていただきます。

まず、質問番号8番、施設改修の考え方についてでございますが、みきの路につきましては、給湯設備や空調設備以外の部分につきましても年数がたっていることから、経年劣化が進んでおります。

また、ふれあいの里の施設ですけれども、こちらにおきましても、ひびき園が昭和58年建築、身体障害者・老人福祉センターが昭和59年建築、はばたき園が平成元年建築と、いずれの施設におきましても経年劣化が進んでいる状況であります。

施設の保全に関しましては、ファシリテイマネジメント、FMとも関係をしてきますけれども、平成31年度に用途ごとの個

別施設計画策定に向けての取り組みを進めると聞いております。

障害福祉課が所管をしております施設に関しましても、この個別施設計画において計画的な保全を行うことによりまして、施設の運営に支障が生じることがないように、適正な維持管理に努めてまいりたいと考えております。

次に、質問番号9番、チャレンジオフィスの今後の人員体制に関しての考え方についてでございますけれども、チャレンジオフィスの人員体制につきましては、最終的には支援員が3名、知的障害者または精神障害者の作業員が9名、身体障害者の作業員が2名を目標としております。

目標とはしておりますが、業務量の確保や、環境が大きく変わることに対する作業員への影響ということが懸念されますことから、段階的に拡大を図ってまいりたいと考えております。

まずは、平成31年度におきましては、先ほどご答弁させていただきましたように、支援員が3名、知的障害者または精神障害者の作業員が7名、身体障害者の作業員が2名と、現状より作業員2名増での体制によりまして、全庁的に集約した簡易な事務作業などを実施してまいりたいと考えております。

○森西正委員長 丹羽課長。

○丹羽自治振興課長 自治振興課にかかわりますご質問にお答えさせていただきます。

質問番号10番、正雀市民ルーム管理事業、予算額及び債務負担行為額についてお答えさせていただきます。

指定管理料につきましては、年度ごとに管理に関する経費を算出し、平成30年度から5年間の債務負担行為の額といたし

まして、6,477万円と設定させていただいております。

積算につきましては、これまでの決算額を参考に、人件費や光熱水費、設備の維持管理に関する経費を積算し算出しており、これらには、資材費の変動、消費税の改正や最低賃金の上昇なども見込んでおり、積算額は前年度を上回っておりますが、平成30年度からは指定管理者の裁量が発揮しやすく、より効果的、効率的なサービス提供でき、市民サービスの向上を目的に、利用収入を指定管理者がする利用料金制といたしました。

このことから、積算した経費から利用料金収入見込みを差し引いた額を予算として計上させていただいているため、前年度より減額となっております。

続きまして、質問番号11番、第2回市政モニターアンケート調査の内容についてお答えさせていただきます。

第2回は、第1回と同様、市民500人を対象に、平成31年2月に実施しているところでございます。

調査内容は、1、運動、スポーツについて、2、自治会、町会について、3、行政に期待する取り組みについての3項目でございます。2と3の項目につきましては、第1回目からの継続項目といたしております。

調査結果につきましては、市ホームページや広報誌で公開していく予定とさせていただきます。

以上でございます。

○森西正委員長 妹尾課長。

○妹尾文化スポーツ課長 それでは、文化スポーツ課に係ります2回目のご質問にお答えいたします。

まず、質問番号12番、全国大会等出場

激励金にかわって、以前と補助額の内容などの違いがあるかというご質問でございました。

平成30年度までの補助金に関しましては、大会参加に要する旅費及び宿泊料の一部を補助する内容としておりまして、大会の参加回数の年度での上限というのをございませんでした。

補助額につきましては、1回につき、個人の上限が1万8,000円、団体の上限が10万8,000円としておりました。平成31年度からは、旅費及び宿泊料を必要としない大会に出場される方にも、対象を広げたいと考えておりますので、大会に出場する個人または団体に対して、一律に激励金という形の交付をすることと考えておりまして、大会の参加回数につきましても、全国と世界と、それぞれ年度に1回という上限を設けようとしております。

全国大会に出場された際の金額ですが、個人の方は1万円、2名の団体は2万円、3名以上の団体につきましては3万円と、これは全国大会で、国際大会は、それぞれ倍額の金額ということで考えておるところでございます。

続きまして、質問番号13番です。旧味舌小学校跡地体育館建設の地元説明会の際に出されていた意見に対して、どのように反映、フィードバックをするのかというご質問でございました。

住民の皆様からは、地元説明会で、体育館建設については好意的な反応であったかと認識しております。

そのときのご意見で主なものとしましては、夏場の暑い時期でも快適に利用できるような空調の設備を整備してほしいですとか、個人でも利用しやすい施設運営を行ってもらいたいなどといったご

意見がございまして、特に避難所としての期待が高いと認識いたしました。

住民の方のご意見につきましては、空調の整備でありますとか、個人が利用できる運営というのは、市としても検討していた内容でございましたので、しっかり設計のほうに反映できるようにと考えております。

また、避難所としての機能につきましても、備蓄倉庫等の整備も検討しております。

住民の方へのフィードバックにつきましても、今後どういう形がいいかということは、考えてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○森西正委員長 辻局長。

○辻農業委員会事務局長 それでは、産業振興課にかかわりますご質問のうち、農政に関します2点のご質問にお答えいたします。

国の経営所得安定対策事業を実施していくための摂津市地域農業再生協議会補助金の29万円の予算の使途ということでございました。こちらにつきましては、経営所得安定対策事業を実施いたしますために、当該事務を行うために必要な臨時職員の賃金、そして協議会開催のための消耗品の執行等に当てております。

続きまして、質問番号16番、市民農園の総合計画に対する目標の達成度合いでございます。

総合計画には、平成32年度の市民農園の面積の目標値といたしまして、1万3,000平方メートルを目標といたしておりまして、先ほど申し上げました三つの新たな形態の市民農園の実績を加算いたしますと、1万2,000平方メートル程度となり、目標に対しましては、92.3%となりまして、順調に目標達成に向けて取

り組んでいると考えております。

以上です。

○森西正委員長 吉田部参事。

○吉田市民生活部参事 それでは、産業振興課商工労政に係ります2回目のご質問についてお答えさせていただきます。

質問番号15番、今後さらに市内の観光地をPRする必要があるのではないかとというご質問ですが、委員がご指摘のように、今後さらに市内の観光地をPRする必要があると考えております。

そのため、観光あるき実行委員会では、今後の有効なPR手段として、市内観光コースを携帯アプリにて掲載してPRできる方法を検討しております。

また、阪急京都沿線のみではなく、他の沿線での観光あるきも一体的に取り組んでいくことも検討しております。

以上でございます。

○森西正委員長 中川委員。

○中川嘉彦委員 それでは、3回目、質問させていただきます。

まず、質問番号1、緑地管理委託料については大体理解いたしました。ただ、木が倒れたところはどうしても撤去したらすき間ができますので、木々のないエリア、そういうところは植樹を行い、近隣環境の維持に努めていただきたくことを要望させていただきます。

質問番号2、水銀使用製品廃棄物処理委託料についてですが、家庭から排出される蛍光管一本一本に含まれている水銀の量は微量ですが、市民の健康や環境に与えるリスクの軽減を図る必要は必ずあると思います。

また、茨木市とのごみ処理の広域化がされることになると、ごみの適正分別が今以上に求められるケースが出てくることも

考えられます。

蛍光灯などの水銀使用製品一般廃棄物の分別と処理を適切に進めてもらうことを要望させていただきます。

質問番号5、高齢者移送サービス委託料についてですが、車両の回転率が悪い、低下していることに起因しているということはわかりました。4台で回して、使用するところが重なっているのかなということだと思います。

これから、ニーズはさらに高まるはずなので、市民サービスの充実の部分からもしっかりとした対策を検討していただくよう要望させていただきます。

質問番号6、訪問理美容サービスについてですが、これも利用できる店舗が限られているとのことですが、私もそうですが、一回散髪屋を決めると、なかなか店を変えない、何でかわかりませんが。

だから、これも市民のサービスの充実を図るためにも、店舗をふやすなり対応策をさらに検討していただくよう要望させていただきます。

質問番号7、レセプト点検事業についてですが、引き続き、生活保護費全体の約50%を占める医療扶助の適正な実施に努めていただくよう、これも要望させていただきます。

質問番号8、市立みきの路改修工事実施設計委託料についてですが、これから公共施設は老朽化が進み、改修や修繕に多額の費用が要ります。ぜひ計画的に優先順位をつけて、しっかりと対応していただくことを要望させていただきます。

次に、質問番号9、チャレンジドオフィスについてですが、知的障害、精神障害、身体障害、いろいろな状況があるかもしれません。でも、しっかりと支えとなってい

ただくことを要望させていただきます。

質問番号10、正雀市民ルームについてですが、この正雀市民ルームは、私も一般質問とかでいろいろ質問させていただきました。この正雀市民ルームの活性化が絶対この正雀地域の活性化につながっていると思います。だから本当に大事な位置づけに正雀市民ルームはあると私は思っています。

あと、裁量がふえた、大きくなって、それで予算が減額になったというふうに捉えたんですけど、逆に利用料金制になったことにより、稼働率、利用者がふえなければ、指定管理者は収入が減り赤字になるのではないのでしょうか。この点をお教え願います。

稼働率、先ほど平成29年度が38.1%、平成30年度が40.8%、多いのか少ないのかって、やっぱり少ないと思いますので、これは稼働率を上げるように努力してください。お願いします。

次、質問番号11、市政モニターについてですが、市政モニターアンケートは、より市民の皆様が関心を持っておられるようなテーマをアンケート調査内容の結果も踏まえて、関係各課と協議をしていただきますように、また、より多くの皆様からのご意見を集約し、施策を進める上での参考になるよう、課題と思われるアンケートの回収率を向上させ、この事業を進めていただきたいことを要望させていただきます。

質問番号12、全国大会等参加補助事業についてですが、激励金の対象を広げられたことはいいことだと思います。交付を受けられた方は大変励みになると思います。ぜひ多くの方に交付できるよう、広報せつやホームページで市民の皆様にも周知し

ていただくことを要望させていただきます。

質問番号13、体育施設維持管理事業についてですが、体育館は地域から避難所としての期待も大きいと思います。先ほどもちらっと出ていましたが。市として体育館を避難所として位置づけられるのか、また、山田川が隣接していますが、水害も考慮しての設計になるのか、その辺をお教え願います。

次、質問番号14、農業地域力創造推進事業についてですが、農業が直面する問題としては、諸外国との経済連携協定により、関税の撤廃、国内食糧自給率の問題、担い手問題など、さまざまな問題があると思います。我が国の農業を守っていくためには、やはり農家の経営所得の安定は欠かせない課題であると思います。今後とも経営所得の安定対策事業について、積極的に推進していただくよう要望させていただきます。

次、質問番号15、観光あるき実行委員会の負担金についてです。

観光は本当に私も一般質問を何回かさせていただきましたけれども、本当に摂津市、何も重要文化財だとかきれいな川、海、空とかなくても、きっちりと、私は観光資源があると思います。淀川の活用だとか、今いろいろ係争していますけれども、JR東海新幹線鳥飼車両基地とか阪急正雀工場、そういうのも観光に、これからインバウンドをいかに取り組むかによって、摂津市の経済浮揚にもなると思います。その辺を考えて、いろいろな形での観光を考えていただきたいことを要望させていただきます。

質問番号16、市民農園設置事業についてですが、市民農園に関しては、いろいろな根拠に基づく開設方法があると聞いて

おります。農地所有者が直面する担い手問題と、農地をお持ちでない方の土に親しみたいといったニーズのマッチングを図っていくためには、市民農園の解説は有効な方法の一つでもあると思います。

今後とも市民の方々のニーズとのバランスを考慮しながら、都市農地の保全を行っていく意味でも、総合計画に掲げている平成32年度の目標達成に向けて、積極的に事業を推進していただくことを要望させていただきます。

以上で終わります。あと2点、お願いします。

○森西正委員長 それでは、指定管理の件ですね。

丹羽課長。

○丹羽自治振興課長 それでは、自治振興課に係ります質問番号10番、正雀市民ルーム管理事業、利用料金制についてのお答えをさせていただきます。

利用料金制においては、稼働率を上げなければ、収入の金額が減り、指定管理者に減少分をご負担いただくこととなります。

現指定管理者におかれましては、平成26年度から受託されております。平成26年度の稼働状況は、利用者数2万1,167人で、稼働率35.1%でございました。平成29年度には、利用者数2万5,019人、稼働率38.1%と、さまざまな取り組みを行い、着実に稼働率が向上しております。

2019年度以降につきましては、指定管理者から提案されている事業計画の中で、ハード面では稼働率の低い調理室や閉鎖されております旧市民サービスコーナー跡についての新たな活用法、ソフト面では、地域団体や商店街との連携についてご提案をいただいております。稼働率アップを期

待できる取り組みと評価しております。

今後しっかりと連携し、市民サービスの向上を目指してまいりたいというふうに考えております。

○森西正委員長 それでは、妹尾課長。

○妹尾文化スポーツ課長 それでは、文化スポーツ課に係ります3回目のご質問にお答えいたします。

質問番号13番、旧味舌小学校跡地体育館について、市としての避難所として位置づけるのかどうかというお問い合わせがありました。

こちらのほうは、主に地震や火事の際に使われる避難所といったものを想定しております。

山田川が近いということでありますけれども、水害を考慮しますと、第一体育室を2階以上に配置することが望ましいということになるのですが、日陰の規制の関係などで、今のところ、建物の高さ制限があるということなので、その配置が非常に難しい状況ではないかというところがございますので、水害までの対応ができる避難所というのは、困難かと考えております。

以上でございます。

○森西正委員長 中川委員。

○中川嘉彦委員 最後に二つとも要望です。

質問番号10、正雀市民ルームについてですが、これ、もう先ほどお話しさせていただきましたが、自治会、地域、要するに商店街、大学、高校、JOCA、青年海外協力協会とか、そういうふうに、正雀周辺にはいろんな団体があります。それとリンクして、協働して、とにかく正雀地域を盛り上げていきたい。その活用には正雀市民ルームの稼働率向上が絶対必要不可欠だと思います。その辺をきっちりとやってい

ただければ、正雀は復活すると思いますので、それは要望させていただきます。

質問番号13番、体育施設の管理事業についてですが、地域の方々にとっては、公共施設が避難所というのは、すごく安心感があります。大阪北部地震のような災害のときに対応できるよう、また、市民の健康づくりの拠点として、体育館建設をしっかりと進めていただくことを要望しておきます。

あと、これはこの間も代表質問でも少し言わせていただきましたけど、その隣の防災空地もスポーツ施設とかガンバ大阪とリンクするとか、そういうことの活用で、しっかり市民のためになることを要望させていただきます。

以上です。

○森西正委員長 暫時休憩します。

(午後3時 3分 休憩)

(午後3時33分 再開)

○森西正委員長 再開します。

次に藤浦委員。

○藤浦雅彦委員 それでは質問させていただきますと思います。

まず1番目ですけども、中国蚌埠市友好交流事業、これは先ほど光好委員からもご質問がありましたけれども、予算概要では20ページになりますが、平成30年度の取り組み、それから平成31年度の方向性については説明があったわけですけども、もう少しさかのぼって、50周年のときには来られなかったとか、中国との情勢がいろいろあって、一時音信不通になっていたということがありましたので、もう少し前から振り返って、平成31年度に向けた動きについてご説明いただきたいと思えます。

2番目に、防犯カメラ設置事業について

であります。これも先ほど質問がありましたので、要望にさせていただきたいと思いますが、試験的にリースの取り組みを導入するというので、次年度以降はまだ決まっていないということでありました。これからやっぱり方向性を早目に、経費の件も含めてしっかり出していただくとともに、今後の設置、増設についても方向性を出していただきたいと思うんです。ことしは、公園はこの課とは違いますけども、公園も含めて10台増設ということもございますし、市全体としては、安全・安心という意味では公園も入るわけで、それも含めて全体として市はどのように防犯カメラを設置していくのかという方向性もしっかり定めていただきながら、そしてリースでやるのかやらないのかも含めた5年、10年といった年次計画をしっかりとつくっていただきたいということを要望しておきたいと思えます。これは要望でございます。

次に3番目、自治活動推進事業について、予算概要では24ページになっていますが、自治活動推進事業に関連したことになりますけども、毎年自治会の加入率がだんだん下がってきているというのは非常に問題視されていることとございます。平成31年度はそのことに対する対策をどのように取り組んでいかれるのかということについて。それからまた安威川以北では近年比較的大き目のマンションが建って完成して入居が始まっているということもありますが、こうしたマンションに自治会がなかなか立ち上がらない、もしくは入られていないということは加入率の低下につながっているということにもなりますけども、そういった大き目のマンションでは全般的に自治会加入についてはどの

よくなっているのか、どのように対策されているのかについてあわせてご答弁いただきたいと思います。

それから4番目、市民ルームフォルテ管理事業のことについて、これも先ほど光好委員からの質問がありましたけども、平成29年度の稼働率は22.6%ということで大変厳しいということで、私は決算審査のときにも実は質問させていただいて、その理由の一つには、やっぱり利用料が高いということも大きな原因ではないかということ指摘させていただいたところです。これは指定管理者制度が一部変わりました、この利用料については指定管理者のほうに入ることになっています。だから本質的には稼働率を上げるという努力をするということになっていると思うんですけど、このフォルテについては市民ルームと違いました、競争原理が働かないですね、摂津都市開発株式会社が指定を受けるということの中で、本当にこの稼働率を上げる取り組みが有効に働くのかなということもちょっと私には疑問なところがありまして、どういう提案があったのかということも非常に気になるのでございます。そういうことも含めて、ことはそれに対して少し中の改装なんか若干するというので予算が上がっていますけど、そういうことも含めて市の担当側としてはどういう見解を持っておられるのか、稼働率を上げる取り組みはちゃんとなされているのかということについて見解を述べていただきたいと思います。

それから5番目、総合型クラブ支援事業についてです。予算概要の42ページにありますが、これはお年寄りから子どもまでスポーツを楽しむ取り組みとして、以前は国が奨励をして各市に最低一つはこの

総合型地域スポーツクラブを立ち上げるようにという取り組みがなされてきたわけでありまして、私も以前には随分このことについては質問をした記憶がありますが、その後せっつブルーウィングスが立ち上がりまして、NPO法人をとられて今活発に活動していただいているということでもあります。当初は旧味舌小学校の跡の体育館を拠点として活動していただいておりますけども、そこももうご存じのように潰しましたので、今は旧三宅小学校の多目的室のほうに行かれていますけども、やっぱりちゃんとした拠点なんか必要なんだろうと思いますし、だから今管理をされているのはその旧三宅小学校跡のスポーツ広場と、それからその横の子育て総合支援センターの遊戯室については管理をされていますけども、山田川公園ももう管理から外れたりされていますけど、今後は、また平成31年度に限ってでもいいですけど、具体的にはどのような支援をしていくことになるのかお尋ねしたいと思います。

次に6番目、総合体育館等体育施設調査・研究事業について、これは代表質問でも触れられていましたけれども、予算概要では42ページに記載があります。18万5,000円ということで大した金額ではないわけですけども、その中身についてご答弁お願いしたいと思います。

7番目、地域福祉計画推進事業、これも先ほど来質問に上がっていましたが、この地域福祉計画推進事業の策定委託料477万4,000円と上がっていますが、まず委託先はどこになるのかということ、そしてまた第3期計画が平成32年度までであったということですけども、当然第4期計画をつくるためには総括しないと

いけないということになると思います。その総括をしていくことについてどのような点に留意をして総括に臨んでいくことになるのかということもあわせてご答弁いただきたいと思います。

次に8番目、地域福祉活動支援センター事業について、これは予算概要の44ページにあります776万3,000円です。これは社会福祉協議会に委託しているということになると思いますが、活発にボランティア団体がここを活用して、また地域の福祉団体が活用していらっしゃると思いますが、平成30年度の実績と平成31年度の活動予定などについてまずご答弁をお願いしたいと思います。

それから9番目に、訪問理美容サービス補助金について、これは先ほどありましたので要望にとどめたいと思いますが、昨年平成30年度から始めていただきました。関係団体からも要望をいただきまして始めていただいたんですけども、なかなか伸びないということもあります。先ほど周知もしっかりやっていきたいという話もありましたし、初年度なのでなかなか周知もできていないということもあるんでしょうし、それからなかなかこういう理美容のところは一遍行くと変えないというようなこともあるんだろうと思いますけども、周知のほうはしっかり行っていただいて、より利用していただけるような取り組みをお願いしたいということで、これは要望としておきたいと思います。

次に10番目、ひとり暮らし高齢者等安全対策事業についてです。予算概要では48ページ、ライフサポーター業務委託料1,706万4,000円とついていますが、平成30年度は2,130万円ということで少し減額されています。これは高齢者を

全件訪問されて、そして問題のある家庭等を抽出していくというような取り組みだったと思っています。恐らく一通りは全部回られて、その状況もわかっているんだろうと思いますが、まず平成30年度と平成31年度の予算上も含めて、その活動の推移、どういうふうに活動されて行かれるのかということについて、まず1回目の質問の答弁をお願いします。

11番目、老人福祉センター事業についてでございます。予算書は48ページです。せつつ桜苑老人福祉センター委託料3,124万1,000円ということで、老人センターのせつつ桜苑に限っては入浴サービスがありますね。大変高齢者の方に喜ばれている事業です。ただし歩いて行かれる方、周辺の方ということで限定をされてしまっているところがあるわけですけど。ちょっとそこに不公平があるかなというのがあるのと、もう一つは利用者同士の間人間関係がいろいろあります。過去からよく聞いているんです。最近もまた相談を受けまして、余りそういうことは事務員の方は介入されないので、来られた方がそれぞれの社会をつくっておられるという、そんな感じになるんですけど、人間の集まりですからどうしてもいろいろ問題があるようですけども、そうしたことについて認識されていますかということと、そういうことに対する対応などについては何か考えられていますかということについてお尋ねしたいと思います。

12番目、障害者虐待防止事業について、予算概要の52ページにあります。47万4,000円ということで、障害者虐待防止の体制整備、虐待防止事業の推進と書いてありますけども、これは成年後見制度の利用促進ということになるんだろうと

と思いますが、そういうことも含めて取り組まれている事業について最初に説明をお願いしたいと思います。

13番目、これは補助金交付事業となっていますが、予算概要の62ページにあります。補助金交付事業、これは三師会、栄養士会、看護師会と三つあるんですね。この栄養士会、看護師会は三師会に比べると随分予算が少ない状況になっていますが、この栄養士会と看護師会の組織の実態についてご答弁いただきたいと思います。

次に14番目、生活保護事業について、これも先ほど来質問がありました。予算概要書の62ページにあります。非常に過度なことになっていると、職員に対しまして対象者が100人を超えるような状況になっていると先ほど答弁がありましたけれども、働き方改革という関係からも、これは大変なことになっているんだろかなと私も思います。その上に担当されている職員の健康が非常に気になるわけでございまして、対応されている方は全部人なので、やっぱりいろいろ問題を抱えている人だったり、困っている人だったりがいらっしゃるんですね。そういう方が担当者が体を壊されて、しばらく長期休暇をされたりしますとたちまちその状況がほかの方ではわからないので本当に困ったことになってしまうということがあります。現にありました。いろいろこの業務の効率化というのもあるんでしょうけれども、先ほど言いましたように、相手が人ですから、なかなか業務の効率化ということにはならないのではないかなと思うんですね。そういう意味ではやっぱりどうしても人をふやすということは必要なんだろうと思いますが、そういうことと合わせて、1回目その実態に対して担当を統括されている

人としてどのように認識されているのかということについて、実態とあわせてご答弁いただきたいと思います。

15番目、健康せつつ21事業についてです。予算概要の64ページになりますが、この中に健康管理システム利用料516万2,000円という計上がありますし、また健康管理システム改修委託料320万2,000円という計上されていますので、まずその内容についてご説明いただきたいと思います。

次に16番目のがん検診事業です。予算概要は同じく64ページになりますが、このがん検診事業について、これは摂津市では各種のがん検診の委託料として掲載されていますけれども、国のがん対策基本法という法律をつくって、このがん予防の推進を強力に進めているという状況の中で、具体的に検診率の目標も示されておりますね。本市も健康せつつ21では独自に目標を定めていると思います。平成30年度はまだ終わっていないのでわからないと思いますが、直近の結果と、その総括について、そして本市では六つのがんの検診の5年刻みの無料クーポン券の発行も続けていますけれども、こういう目標を達成するために平成31年度として受診率を向上していくための取り組みについてもご答弁いただきたいと思います。

17番目、まちごとフィットネスヘルシータウン事業、これも先ほど質疑がありましたので、要望にとどめたいと思いますけど、ことしで10コース目のコースが設定されて、そしてこれからは一般の人がそれを利用していただく取り組みをしていくということをございしました。携帯サイズのコース表なんかを策定していくということをございしましたけれども、さらにさまざま

に知恵を凝らしていただいて、楽しく参加できるような取り組みをさらに工夫していただいてやっていただきたいと思うんです。先ほど健幸マイレージについてはPRビデオを流したということがありましたけれども、そういうのもこのウォーキングについても職員のたけた方につくっていただいて老人会に回すとか、いろんな形で楽しく始められるような工夫をぜひ取り組んでいただいて、この充実して広がっていくようお願いしておきたいと思えます。これは要望としておきます。

次にし尿収集事業についてです。これは決算審査のときにも言いましたけども、予算概要では72ページに載っています。し尿収集運搬委託料というのと、し尿処理負担金というのと、浄化槽汚泥処理負担金というのがそれぞれ載っています。これは委託先とかどういふふうにしてやっているのかということも含めて、最初に説明いただきたいと思えます。

次に19番目、市民農園設置事業について、予算概要76ページです。これも先ほど質問がありました。ことしの予算でいいますと、新しい農園を策定するというのはどうもないようでございます。それで目標も平成32年度で1万3,000平方メートルに対して92%になっていますというような話でございましたけども、ことしはスタートはなくても来年度からスタートするような取り組みとか、新規で準備をしていくというような予定がないのかということについて質問します。

20番目、食品ロス、これは平成29年度の決算審査でも質問しましたし、また一般質問でもしましたけども、フードドライブを提唱させていただいているわけでございます。これは一石何鳥にもなるんです

ね、ごみ減量にもなりますし、食品ロス削減にもなりますし、そしてこういう生活困窮者対策にも利用できるというようなことで訴えているわけです。まず最初に46ページのところの生活困窮者自立支援事業というのがあって、実は直接フードドライブとは関係ないのですが、社会福祉協議会とそれから摂津市とフードバンクと提携を結んで、そういう困窮者のためにフードバンクのものを利用させてもらうというような提携をされましたですね。去年はなかなか実態がありませんという話でした。これは大阪はフードバンクが堺市にありますから、堺市まで遠いので取りに行けませんと、将来は茨木市に拠点を設けますという話でした。これはフードバンクに私たちが行って聞いたらそういうことになっていましたけども、どうも何か茨木市に拠点が設けられて少し動きがあるようには聞いているんですけど、平成31年度に向けてそういったことも織り込んだ取り組みになっているのかということと、うわさで実はフードドライブを始めたときには出口が必要なので、その出口として集めたはいいけど持っていくところがなかったら困るから、その出口としてのかかわりがちょっと出てきているといううわさを聞きました。そのことについてもご答弁をお願いしたいと思います。

以上です。

○森西正委員長 答弁をお願いします。

丹羽課長。

○丹羽自治振興課長 自治振興課にかかわりますご質問にご答弁させていただきます。

質問番号1番、中国蚌埠市友好交流事業についてでございます。中国蚌埠市とは昭和59年5月5日に友好都市の締結をさ

せていただいております。その後友好物産展の開催やスポーツ少年団、文化交流など相互交流を通して行政間交流から市民レベルの交流に広がりを見せておりました。その後、蚌埠市側から市場経済という言葉もあり、経済交流にも進んでいたところですが、平成24年度4月の中国国交正常化40周年記念で蚌埠市に国際交流協会から友好訪問団を派遣してからは交流が途絶えている状況が一時ございました。その後、平成28年度、本市の50周年記念ということがございまして、こちらのほうからご案内状を送付させていただいたところなかなか返事がなかったというような状況がございます。その後、平成29年2月に蚌埠市の市長が変わられて、国際交流協会の役員のご尽力もあって、中国蚌埠市の担当者と連絡が取れるようになりました。担当者のレベルではございますが、メールでの交信を続けさせていただいております。平成29年には6月ごろに9月に来たいということでご要望をいただいたところではございますが、摂津まつり等々、こちらの準備の都合もありまして実現にはいたりませんでした。その後、昨年12月ごろに、平成31年10月ごろにこちらのほうに来撮したいという具体的なご提案がありまして、現在日程等について調整を進め、来撮実現に向けて進めてまいりたいというふうに考えているところがございます。

続きまして質問番号3番、予算概要24ページ、自治活動推進事業にかかわりまして、まず自治会の加入率対策についてお答えさせていただきます。自治会の加入対策につきましては、大きなところで申しますと、「つながりのまち摂津」連絡会議で市内の4団体と連携し、つながりを育むとい

うことに加えて、自治会の加入率にもつなげてまいりたいということで考えているところがございます。また先般開催されました自治連合会の役員会においては、市政モニターアンケート調査の結果について詳細にご報告をさせていただきました。その中で自治連合会の役員の中でもやはり加入率についてはいろんな課題を感じているということのご意見がございましたので、次年度については活発に自治連合会単体でも加入率についてご検討をいただけるものというふうに考えております。また、市内で開発の進む分譲マンションの自治会化に向けて、マンション管理会社や自治連合会と連携し、個別に交渉を進めているところがございます。具体的には正雀1丁目に所在します正雀ミライオスクエア、千里丘新町で開発が進んでいるローレルスクエア健都ザ・レジデンス、南千里丘1丁目に所在するリビオ南千里丘、三島3丁目に所在するシャリエ摂津三島の計4軒のマンションには具体的に校区の自治連合会の理事と自治振興課の職員と連携して自治会組織化に向けてお願いに行っております。

続きまして、予算概要24ページ、市民ルームフォルテ管理事業についてでございます。稼働率の上昇につきましては、今年度については壁紙等を張りかえて利用していただきやすいようにさせていただいたところがございます。また具体的な取り組みとしましては、次年度については、ご存じかと思いますが、入り口の鉄の扉を改装させていただいて、使っていただきやすいような雰囲気をつくり出すということでご提案をいただいているところがございます。また、かねてから藤浦委員からはご指摘いただいております利用料

についても、今般利用料金制を入れたことによりまして、条例では上限額を設定させていただいております。上限額以下でございましたら、指定管理者のほうで一定融通がつくということで、現在事業計画の中で稼働率アップに向けて利用料金の変更についてもご提案いただいているところでございますが、フォルテについては固定の利用者が非常に多いというところがございます。単に利用料金を下げると利用料金の収入が下がってくる、利用料金を下げたときに稼働率がどれだけ上がるかというところにかかってきますけども、そのあたりを精査して稼働率の上昇に向けて取り組んでまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○森西正委員長 妹尾課長。

○妹尾文化スポーツ課長 それでは文化スポーツ課に係ります2点のご質問にお答えいたします。

質問番号5番、予算概要42ページ、総合型クラブ支援事業で平成31年度の支援の内容ということでございました。平成31年度につきましては、旧三宅スポーツセンターのグラウンドにつきまして、NPO法人せつつブルーウィングスで広く市民に利用してもらうための貸し出しについての事務でありますとか、施設の管理ということを委託させていただく予定でございます。予算計上しておりますのは、そちらの管理委託の内容としまして、人件費と事務手数料で、午前8時半から午後0時半までの分ということを計上させていただいております。午後0時半以降の部分について、隣接する子育て総合支援センターの遊戯室の開放に係る委託料につきましては教育委員会で計上しているというこ

とで、文化スポーツ課では午前中の部分だけの予算計上とさせていただいております。具体的に総合型クラブに対する支援事業としては、予算計上しておりますのはこの管理委託料のみでございます。また別に摂津市のスポーツ教室運営委員会というところで、NPO法人せつつブルーウィングスがスポーツ教室ももっていただいております。市で負担金をお支払いしております。また施設の使用についても、市主催のときと同様、免除という形での支援を行っているところでございます。

続きまして質問番号6番、予算概要の42ページ、総合体育館等体育施設調査・研究事業についてでございます。平成31年度の内容でございますが、先進事例の視察を行うための旅費と、また職員だけでなく、指定管理者等、意見をいただけるような外部の方と一緒に視察し先進事例を探るところで費用弁償も計上させていただいております。これにつきましては、総合体育館も含めたスポーツ施設全体の配置、あり方について、公共施設等総合管理計画も踏まえながら研究してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○森西正委員長 有場課長。

○有場保健福祉課長 それでは保健福祉課にかかわりますご質問にお答えいたします。

まず質問番号7番、予算概要44ページ、地域福祉計画推進事業についてでございます。この中で地域福祉計画の来年度の委託料の件でございますが、委託先につきましては、新年度に入りましたら速やかにプロポーザルを実施いたしまして、業者選定に努めてまいりたいと思っております。

これまでの第3期地域福祉計画の総括

というご質問でございますが、第3期地域福祉計画につきましては、従前より地域福祉推進協議会におきまして、年度ごとに実績等を協議していただきまして、これまでの進捗率の経過について議論をさせていただいているところでございます。今後の総括というところにつきましては、次期、第4期の計画の中におきまして、これも地域福祉推進協議会におきまして議論を進めていただく予定となっております。ポイントとしましては、地域福祉計画が福祉計画の上位計画に位置づけられたということがございます。これまで制度別、分野別で縦割りのサービス、支援等が全体的に進められてきたわけですが、今後はこれをいかに包括的にサービス等を実施していくかというところが争点になると思えます。これにつきましては、関係各課で十分協議しまして、各福祉計画との整合性を図りつつ、検討してまいりたいと考えております。

次に質問番号8番、予算概要44ページ、地域福祉活動支援センターについてでございます。地域福祉活動支援センターにつきましては、地域福祉の推進のための活動を行う団体のみの利用が認められておりまして、利用団体は原則登録制ということになっております。登録団体の数でございますが、当初は7団体でスタートしておりましたが、現在は12団体となっております。それに伴いまして利用件数、利用者数ともに増加傾向にございます。平成30年度ということでしたけども、私の手元には平成29年度の実績ということで、利用件数として845件、利用者数は1万2,710人ということで報告がございました。これは平成25年度が634件で、利用人数が9,114人ということでございました。

今後の取り組みでございますが、この施設の利用を促すという意味では、登録団体をふやしていくということが重要であると考えております。そうしたことから、これまでもそうしてきたように、社会福祉協議会などとの関連団体と協力してボランティアの育成、センターの機能のPR等に努めていきたいと考えております。

次に質問番号13番、予算概要で62ページ、補助金交付事業の中の栄養士会と看護師会についてでございます。実態と申しますか、栄養士会につきましては、会員数が現在11名とお聞きしております。看護師会につきましては会員数が18名となっております。ともに昭和の時代に設立されて現在に至っております。活動内容としましては、市の健診に会員を派遣していただいております。お手伝いをしていただいたりとか、地域の活動でそれぞれの専門性を生かした活動をされているということでございます。

続きまして質問番号15番、予算概要64ページ、健康せつつ21推進事業の中で、健康管理システムの利用料と、健康管理システム改修委託料についてでございます。健康管理システム利用料につきましては、これは毎年計上させていただいておりますが、保健福祉課で運用しております健康管理システムの利用料ということで、これにつきましては、市民の健診とか、予防接種等を把握するために運用しているシステムの利用料でございます。健康管理システム改修委託料でございますが、これにつきましては、主に元号対応ということでございます。

次に質問番号16番、予算概要64ページ、がん検診事業についてでございます。がん検診におきまして、平成29年度の実

績値でございますが、胃がんが国、府ともに目標40%に対しまして、本市が10.8%、大腸がんが国が40%、府が30%に対して、16.2%、肺がんは国が40%、府が35%に対しまして、18.2%、乳がんは国が50%、府が40%に対し、19.5%、子宮頸がんは国が50%、府が35%に対し、27.9%となっております。先ほど6がんとご質問の中でおっしゃいましたが、前立腺がんについては目標は掲げておりません。これらにつきましては、本市の実績値、目標を大きく下回っておりますが、府下の市町村の平均では全てのがんにおきまして平均以上の値となっております。計画における目標値につきましては、現在府の目標値を設定しているところでございます。最近の傾向でございますが、がん検診は特定検診の受診者数に比例する傾向がございまして、経年での上下はございますが、最近はやや減少傾向にあるかと考えております。対策としましては、今年度、新たに未受診者勧奨を実施しております、約1万3,000人に対しまして受診勧奨通知を送付したところでございます。

以上となります。

○森西正委員長 荒井課長。

○荒井高齢介護課長 高齢介護課の2点のご質問にお答えいたします。

まず質問番号10番、ライフサポーターの実績についてでございます。ライフサポーターは平成28年11月に増員した後の訪問実績につきましては、ひとり暮らし高齢者の対象者数と訪問回数が平成28年度は1,456人で6,681回、平成29年度が1,458人で7,095回となっております。また75歳以上高齢者につきましては、平成28年度は1,4

24人で2,404回、平成29年度が2,441人で3,615回でございました。訪問時には高齢者のための福祉サービス冊子や携帯版救急医療情報シートを配付するとともに、状況確認シートによって健康面や生活の状況などをお聞きし、必要な介護サービスや福祉サービスにつなげてきたところでございます。これまでに把握してきました訪問記録につきましては、他の高齢福祉サービスの利用状況とともにシステムで一元管理しております。安否が心配な場合や身元がわからない高齢者の確認などに、これまでの活動で把握した情報が生かされております。今後もライフサポーターの活動実績を踏まえて、効果的なケースワークと必要な頻度の見守りを行うとともに、平成31年度からは健康づくりや介護予防に関する情報の積極的な提供と、生活上の困り事などのニーズの把握に取り組んでまいりたいと考えております。

続きまして質問番号11番、せつつ桜苑老人福祉センターでの入浴のトラブルについてでございます。この件につきましては、情報がこれまで市に入ってきてはおりませんでした。まずは現場の職員が利用者の声を聞き、現状を確認して、両者が気持ちよく利用できる環境づくりに努めるように伝えてまいりますとともに、現場との情報共有を図り、トラブルの解消に努めていきたいと考えます。

○森西正委員長 森川課長。

○森川障害福祉課長 障害福祉課にかかわりますご質問にお答えいたします。

質問番号12番、予算概要52ページ、障害者虐待防止事業の取り組み内容の説明をとということでございました。取り組みといたしましては、障害者虐待を未然に防

止するための啓発事業としまして、研修会の開催を行っております。また成年後見人制度を利用するために必要となる裁判所への市長申し立てに伴う手数料、市長申し立てをし、かつ生活保護受給者の方が利用される成年後見人への報酬についての助成を行っております。それから障害福祉課内に障害者虐待防止センターを設置しております。通報に対しての対応を行っております。

○森西正委員長 松木課長代理。

○松木生活支援課長代理 それでは生活支援課に係ります、質問番号14番についてお答えさせていただきます。

先ほどの光好委員のご質問にご答弁させていただいたように、現在生活支援課におきましては、ケースワーカーが11名配置されており、1人当たり平均107世帯を担当しているところでございます。対人支援については効率化が困難な部分が多々ございますが、ケースワーク以外の書類整理や入力作業等については、アルバイト職員の雇用や、チャレンジドオフィスを積極的に活用し事務処理の効率化及び軽減化を図り、ケースワーカーが対人支援に集中できる環境を整えておるところでございます。

続きまして質問番号20番、予算概要46ページ、生活困窮者自立支援事業についてのご質問に答えさせていただきます。現在生活困窮者自立支援制度におけるフードバンクを活用した支援事業に関しましては、平成28年8月に摂津市と特定非営利活動法人ふーどばんくOSAKAにて協定を結んでおります。生活困窮者自立支援事業の窓口は、何らかの事情により食べる物がなく、緊急性の高い相談者が来庁された際には、ふーどばんくOSAKAと連

携し、相談者の状況に合わせた食品の提供を行っているところです。ふーどばんくOSAKAにおきましては、さまざまなイベント時にフードドライブを実施しておりますので、現状、生活困窮者自立支援事業において直接フードドライブを実施する予定はございませんが、ふーどばんくOSAKAと協定を結び、緊急的な食糧支援が必要な家庭に届けることにより、結果的に寄与しているものと考えております。

○森西正委員長 飯野課長。

○飯野環境政策課長 質問番号18番、し尿収集事業に関するご質問にお答えいたします。

し尿及び浄化槽汚泥につきましては、クリーンセンターの機能停止に伴い、平成25年10月からし尿は豊能町に、浄化槽汚泥は茨木市にそれぞれ処理をしていただいております。各市町に処理に係る負担金を支払っております。し尿収集運搬委託料につきましては、市内の一般家庭や事業所、仮設トイレ等から発生するし尿を収集し、豊能町衛生センターへ運搬する業務の委託料で、現在は木本興産株式会社に委託しております。

以上でございます。

○森西正委員長 辻局長。

○辻農業委員会事務局長 質問番号19番、予算概要76ページ、市民農園に関するご質問にお答えいたします。

市民農園につきましては、総合計画に多様な市民農園の形態を実現するというのと、あともう一つ、子どもから高齢者まで幅広い層の人たちに親しんでいただくという目標がございまして、現在、さまざまな市民農園の形態がございまして、自由には土をいじりたい、親しみたいという方には通常の市内各地にござい

す市民農園がございますし、農業の知識を蓄えたいとおっしゃる方にはファミリーファームということで体験型の市民農園もございます。それに合わせまして、平成30年度は水稻の体験、あと福祉農園、そして小学校低学年児童の体験農園ということで摂津小学校と三宅柳田小学校ではタマネギの植えつけ・収穫、それから鳥飼東小学校ではキャベツの植えつけ・収穫、そして味舌小学校ではパセリの植えつけ・収穫、こちらのほうを新たに展開してまいりましたところでございます。そのほか小学校では小学校3年生で、ご存じのように、鳥飼なすの植えつけ、農業振興会のご協力で行っておりますが、あと小学校5年生では全校で田植えと稲刈りの体験も実施しておるところでございます。平成31年度につきましては、この小学校2年生の低学年の部分、こちらのところを拡大していきたいというふうに考えております。何分対象となる農地の折衝が必要でございますので、授業時間を使って子どもたちが移動することになりましようから、学校と農地のアクセスの問題でございますとか、手前どものマンパワーの問題もございます。そちらのほう、農地所有者並びに連携させていただくJA北大阪と協議を進めながら、1校でも多くの子どもたちに農業に親しんでいただけるように頑張りたいというふうに考えております。

以上です。

○森西正委員長 藤浦委員。

○藤浦雅彦委員 ご答弁ありがとうございます。

それでは2回目の質問とさせていただきますが、一部要望になります。

まず1番目の中国蚌埠市友好交流事業についてですけれども、昭和59年からの流

れをおっしゃっていただきまして、今は民間交流というのが主体になっているということで、そして中国のお国事情があつて一時向こうからの交信が途絶えたけれども、こちら側は対話の窓をあけていたということでございまして、やっぱり民間交流というのは決してそういう国の外交問題に左右されてはいけないものだろうと、私は思っています。残念ながら相手側がそういう現状になったということで、少なくとも本市はどのようにならろうとも、やっぱり対話の扉を閉ざさないように、そういう姿勢で今後もお願いしたいと思います。これは、いかがですかと聞いておきます。

3番目、自治活動推進事業について、先ほど自治連合会でも大変問題視されておられるので、自治連合会としても単体で取り組んでいかれるというお話がありましたし、またマンションにもそれぞれ働きかけを行っていただいているということでございます。これは何年前かに、私も記憶しておりますが、こういう大きな建物を建てる時には摂津市開発協議基準、今ちょっと問題になってはいますが、この開発協議基準というのがありまして、これにはまだ最初は自治会の加入について事業者の負担というか、責務というのは載っていませんでしたが、議論をさせていただく中で、確かこの開発協議基準の中にも事業者の自治会加入に対しての努力義務というのが記載されたというふうに記憶しているわけですが、そういうことも多少は作用しているのではないかというふうに思うわけですが、今後も引き続き加入率がこれ以上下がらないようにしっかりと鋭意努力をしていただきますように要望としておきます。

次に市民ルームフォルテ管理事業につ

いてですけれども、提案の中には料金を下げるということも一応あるということでございましたので、私は直感的にそう思うわけで、あれだけいい場所にあるのにこれだけ利用率が低いというのはやっぱり料金だと思っんです。これは同じような現象がここだけじゃなくて吹田市でも起きていまして、さんくすホールという非常に高額なホールがありまして、いつでも大概あいているんです。高いんですよ、すごく。もう椅子1個幾らととられるんです。まあ恐らく駅の前やから高くしていると思うんですけど、やっぱり各団体は最初に安いところを探して行って、あいていなかったら高いところへ行くという傾向があると思うんですね。そういうこともよくよく精査していただいて、利用率が上がるように、より市民活動が活発になっていくように、寄与できるようにしていただくように、これも要望としておきます。

次に総合型スポーツクラブの支援についてでございますが、委託料という形での支援と、それから自主的にいろいろスポーツクラブの活動をされていますから、それに対する支援と両方あるんだと思いますけども、何となく私がイメージしていて、管理料がどんどん減っているんで支援が減らされているようなイメージをちょっと持っています。旧味舌小学校跡地の体育館も今度、先ほどいよいよ基本設計、実施設計と進んでいくという話でしたので、その管理なんかも一度検討を加えながら、実は茨木市のこういうクラブは東体育館という体育館を拠点をもって活動しているというようなことがあります。これはちょっとまれやと、ほとんどはそういうものは持っていませんという話でしたけども、何かさまざまに支援できることを考えて

いただいて、よりこの総合型スポーツクラブが活発に発展できるように支援を考えていただきたいと思います。これも要望としておきます。

次に総合体育館等体育施設調査・研究事業について、先進市に視察に行かれると、当然総合体育館のことも含めて、それから既存の体育館のことも含めてということでございました。プラス、やっぱり屋外施設のことも総合的に捉えていただいて、特に子どもたちがしっかり市内でスポーツができるような視点もしっかり持っていて、クラブに入っている子どもだけではなくて、放課後いろいろできるような簡単なスポーツなんかも親しみやすいように、そういう視点もぜひ持っていただきたいと思います。小学生の子どもがいる若いお母さんたちの子どもに対する思いをよく聞きますけど、どこへ行ってもボール遊びはできないと、ボールを持って遊ぶことができないからゲームに走るんやということをよく言われます。だからそういう簡単なキャッチボールとか、そんなことができる公園も欲しいというような声もよく聞いておりますし、そういう視点も持ちながらぜひとも総合的な取り組みをしていただきたいと思っていますので、これも要望としておきます。

次に、地域福祉計画推進事業についてであります。先ほど委託はプロポーザルで今後決めるということと、あとこれからは福祉の上位計画になるからちょっと重たい計画になるんだというようなお話もありました。これは一番最初、平成18年に策定されましたけども、そのときに会長が同志社大学の名誉教授の井岡先生がずっと会長をされていて、1回目のときは私も随分質問を、毎回の委員会や議会で質問

しまして、地域福祉命のような感じでしたけども、ぜひお披露目の講演会をやってほしいということをお願いしまして、文化ホールでこの策定の直前だったか、直後だったか講演会もやっていただいた記憶があるんですね、そのときは当然井岡先生に講演していただいたわけですけども、多分今回の4期目も井岡先生に入っていただくことになるんだろうと思いますけども、これだけ上位計画という福祉の総合計画のような立場になるということもありますから、少しそういう視点も持っていかれたらどうなのか、策定もし、そしてしっかりお披露目をしていくような講演会もして、市民に周知をしていくということも大事なんじゃないかなと、平成18年の当時に比べると随分環境が変わっていますね、いろんな計画がたくさんできてきた、健康もそうやし、それから介護もそうですね、高齢者がどんどんふえてきたという状況になってきていますから、あの平成18年の当時に比べると本当に複雑にもなっていますし、いろんな計画ができていますし、それを束ねる計画としてこれから高齢化社会をしっかりと乗り切っていくというふうな、また先ほど自治会などが主体となつてつながりのまちというのをやっていますが、それも担っていくような計画になるんだろうと思うので、そういうことも含めて一度検討されてはどうかと思うので、一度考えを聞いておきたいと思います。これは質問ですよ。

8番目、地域福祉活動支援センター事業について、先ほど少しずつですけども、ふえてきているんだというようなお話がありました。福祉を専門とする拠点だということで、先ほどの地域福祉計画も同じですけど、やっぱり福祉を中心とする活動がど

んどん活発になっていくことが摂津市を向上させていくことにつながっていくんだらうと思うんですね。ここは利用料が無料で使えるという利点もありますから、どんどんやっぱりそういう団体に登録していただいて、そして活発に福祉活動を、防災なんかもこの分野でいけると思いますが、去年のボランティアフェスティバルでは防災をテーマにされていました。大変いい取り組みだったなというふうに私も思うわけですけども、そんなふうさらに活発にこの拠点が利用されていくように、これは直接は社協が扱っていますから、援護射撃で市のほうからもお願いしたいと思っています。これも要望としておきます。

次はひとり暮らし高齢者等安全対策事業についてであります。既に一巡、二巡していただいている、それぞれの情報については把握していただいていると思うんですね。CSWとか地域包括支援センターとかいろいろ連携をとりながらそういう情報も共有しながら、しっかりと見守り体制を構築していただいているんだろうなというふうに思っています。私どもも時々安否情報について知っている人のことについて問い合わせがあったりするので、そういうことはだんだん、だんだん敏感になってきているなという気がしています。これはさらにしっかりと取り組みを強化していただいて、見守り活動を、まだまだこれから高齢化社会はどんどん進んでいきますから、よろしくお願ひしたいと思います。これも要望としておきますので、お願ひします。

11番、老人福祉センター事業ですね。高齢者同士の人間関係というのがあって、どうしても人間の集まりですから、なかなか嫌な思いをした人が今度は行けなくな

ってしまうみたいなことがあるようです。事務所の人もやっぱり忙しいんやと思いますけども、一人一人と向き合う取り組みをしていただきたいと思うんですね。双方の意見をよく聞いてあげていただきたいと思います。そういったことをこちらのほうからも促していただきたいと思いますというふうに思います。

それから近くの人以外はなかなか使いづらいという話ですね。去年は台風があり地震がありまして、またお風呂屋さんが一つ閉まっています、正雀にあったお風呂屋さんで、恐らくもうやられないと思うんですけど。やっぱり利用していた人がいて非常に困っていらっしゃる、銭湯難民ですね。寿温泉も数年前になくなりましたからここにもいらっしゃいます。歩いてあそこの香露園のところにあります銭湯まで来られるんですよ。よく見るんです。冬はまだいいんですけど、夏は暑いですから、帰るのに汗だくになってしまっているというような状況もよく聞きます。

以前に、せつつ桜苑をもっと利用してもらえるように、例えばデイサービスね。朝、送迎があって、一服したらそのバスで老人センターの利用者を回っていただいて、またお昼から回って、今度は帰るのに回っていただいて、ほんで、4時、5時ごろからまた送迎にというようなことはできませんかということのをせつつ桜苑に聞いてもらったことがありますけど、なかなか難しいと。あそこはあそこで、手いっぱいなのかもわかりませんがね。

少し補助金を出してでも、そういった銭湯難民の人に、より老人センター、これは市の施設なので、市の老人センターが利用していただけるような取り組みができないものかなと改めて言っているわけです

けども、このことについて一度ご答弁をお願いしたいと思います。

それから、障害者虐待防止事業、12番目ですけれども、研修会を持たれたりとか、それから、センターへの通報の体制を整えているということでございます。

今までも、報道機関で障害者に対する施設での虐待行為なんかが報道されておりますので、本市からも絶対そういうことが出ないように、出さないようにしっかりと、これからも取り組みをしていただきたい。体制の強化も図っていただいて、そういうことがないようにしていただきたいと思います。これは、要望としておきますのでお願いします。

それから、補助金交付事業、13番目、栄養士会は現在11人、看護師会は18人とおっしゃられました。去年、実は三師会の集まりのときにお会いした看護師会の会長にお聞きをしたら、9人とおっしゃっていましたが。どちらも大変自治的な活動をされている団体とはいえ、摂津市にとっては大事な団体なんだろうと、私は思っています。

栄養士会は、特定健診のときもいろいろお手伝いをしていただいたりとか、また、健康まつりのときも栄養指導のいろんなブースを担当していただいたりなど、摂津市の健康づくりのためにも大変貢献をいただいている団体でございます。今度、国立健康・栄養研究所がやってきますけども、どんどん活性化していただくことで、大きく可能性も広がってくるのではないかと思うわけですがね。

また、一方で、看護師会も防災などについては看護師会という役割がしっかりあって、摂津市内に18人しか看護師がいらないとは、到底考えられないんで

すね。結構、知っている方でも看護師はいらっしゃいますが、なかなかこういったところにはお入りにならないと思いますけども、こういう団体が活性化をすることで、摂津市にとって絶対プラスになるんだろうなど、私は前々から思っているんですけどもね。何か摂津市として少し活性化にお手伝いできる、支援することはできへんのかなと思うわけですが、そのことについてのように見解を持たれているのか、ご答弁をいただきたいと思います。

次に、生活保護事業についてであります。先ほど107人を一人でもっておられるということで、大変負担が重たいということで、また、サービス付き高齢者住宅問題がちょっとあったようございまして、その対応に随分追われたようなこともあったようございまして。

これは、痛しかゆしのところがありまして、サービス付き高齢者住宅というのは国が推奨していて、高齢者が住みやすいということになっていまして。だから、なかなか高齢者って受け入れてもらうところが少なくなってきましたから、そういうものの一つの受け皿としてつくられていているということだと思っておりますが、たまたま昨年地震や台風があったりとかして、市を越えて、しかも生活保護でも入れるような施設が受け入れたということで、集中的に受け入れているということが問題なんだろうというふうに思います。

先日、千里丘にも実は予定されているサ高住がありまして、その説明会がありましたから私も参加をさせていただいて。実は、摂津市ではこういう問題があるんですということ、その事業者にちょっと伝えたんですけどね。値段設定は、どうも少し高いようです。ちょっと生活保護者の方では

入れないような状況だったんですけども、そういう問題もあつたりして、そういう不慮の突発的なこともあつたりして、やっぱり職員が健康を害してしまうようなこともあると思うので、その辺は本当に、少しは余裕が持てるような体制をとりながら、職員の健康を第一で今後も取り組んでいただきたいというふうに思いますので。先ほど、最初に言いましたけども、職員の方が何らかの形で健康を害されると、やっぱりみんな困ります。市民の方も困るので、そういうことをしっかり気をつけて、今後もやってくださいませ。これは、要望としておきます。

健康せつつ21推進事業、15番目ですね。

システムについては、わかりました。このまちごと元気！健康せつつ21というのは、平成30年度で中間見直しが行われましたかね。

まず、その中間見直しの概略について、そして、このまるごと元気プランというものの、アクションプランですね、これもあわせて見直すということになっていましたけども、あわせて概略について教えてくださいませ。

平成31年度の事業としましては、新たな受動喫煙防止区域の設定というのがなされます。これは本会議でも、代表質問でもありました。

喫煙率ですね、問題は。受動喫煙を減らす、そしたら喫煙者も減らしていくというような方法になるんだろうと思いますけども、平成24年度の現状では、男性は25.6%、女性が6.3%となっていましたけども、恐らく少しずつは減少しているんだろうなというふうに思うわけですが。中間見直しも、ほぼ終わっている

んだらうと思いますが、そういう中で、現状はどういうふうになってきているのか。

それから、昨年からSTOP MIキャンペーンを始めまして、これをまたずっと継続をしていくということになりますけども、このことについてもどのような評価になっていっているのかということ、あわせてご答弁していただきたいと思います。

次に、16番目、がん検診事業についてでございます。

なかなか国の上げている目標値と、大阪府の上げている数値と、摂津市の数値に大きな開きがあると。そやけども、他市には負けていませんよというような話だったんだらうと思いますが。この平成30年度に行われた受診勧奨事業は、ことしも継続してやられるんだらうと思うんですけど、とにかくあきらめずに、地道に頑張っていたきたいと思います。必ず、頑張れば道は開けるという思いで、お願いしますね。これも要望としておきます。

それから、し尿収集事業について改めて聞きましたけども、今、し尿は豊能町に持って行っていますよね。それも箕面有料道路を越えて、あの遠方まで運んでいるから、時間的には非常にロスが生じているというようなことでございます。また、一方で、浄化槽汚泥は今、茨木市にお願いをしているということ。

先ほど、前回も、平成29年度の決算審査のときも言いましたけども、茨木市とごみ処理広域化についての協定ができましたということで、橋も架けます、橋も。直接行ける、摂津市からそこへ行く橋もできます。それで、浄化槽汚泥は、今、向こうを走っていますけど、この橋を通っていきますね、浄化槽汚泥は。

し尿もあんな遠いところに行くのを、あれはありがたいですよ、受け入れてもらってありがたいんですけども、平成34年度までの契約ということでございますから、平成35年度からこちらのほうに、少し高めでもやっぱり受け入れてもらうような話ができれば、向こうも、こちらもいいし、茨木市も経費的にも助かるという話であれば、できない話ではないと思いますので。

まだ、時間がありますよ。時間があるので、ころ合いを見計らって、いいタイミングでそういう話も、ぜひとも進めていただいて、少しでも経費が削減できる方法を模索していただきたいと思うんですが、そのことについてはどうでしょうかと聞いておきます。

ほいで、20番ですね。フードドライブに関連をした話ですね。

もう生活困窮対策としては、フードドライブもフードバンクを利用してされているということでもありますので、例えば、環境業務課のほうでフードドライブを取り組んでいただいても、はけ口はちゃんと生きると思いますからね。

これは、何回も提唱していますけども、ぜひ、ことしは、新年度は前向きに捉えていただきたいというふうに、私、思うんですけども、ちょっと感想なり、思いなり、評価なりを担当者から一言お願いしたいと思います。

以上で、2回目です。

○森西正委員長 暫時休憩します。

(午後4時44分 休憩)

(午後4時45分 再開)

○森西正委員長 再開します。

藤浦委員。

○藤浦雅彦委員 一つ、聞くのを忘れしました。済みません。

市民農園ですね。新しい展開は、まだ考えていच्छゃらないという話のようでしたけども、なかなか、もう田畑も少なくなって貴重になってきている中で、千里丘に市民農園をつくっていただきましたが、その隣に実はあいている、もともと畑をしていच्छゃるところがあいています。

そこも、ぜひ視野に入れて、できれば千里丘は本当に少ないですから、もう田んぼもちょっとしか残っていませんからね。ぜひとも今後、ご検討いただきたいということをお願いしておきたいと。これは、要望としておきたいと思いますが、お願いしておきたいと思います。

生産緑地の法律が変わって、こういう市民農園のような形で貸しても、それが認められるというふうになったと思うんですね。だから随分、貸してもらいやすくなっているような状況だと思うので、ぜひとも拡大に努力いただきたいということで。これは要望としておきます。

○森西正委員長 質疑の途中ですけれども、本日の委員会はこの程度にとどめ、散会したいと思います。

(午後4時46分 散会)

委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

民生常任委員長 森西 正

民生常任委員 光好 博幸